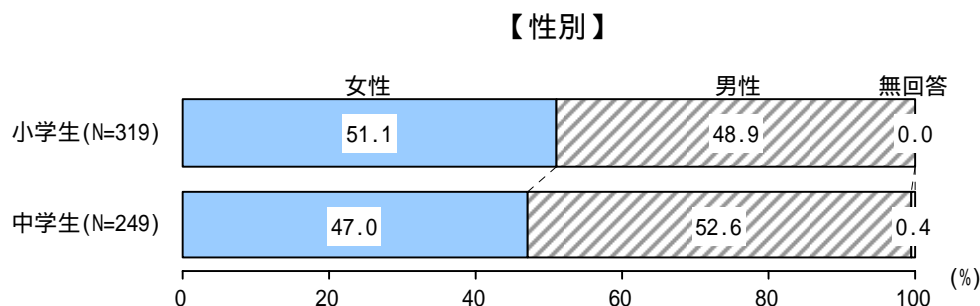


## 小・中学生調査結果

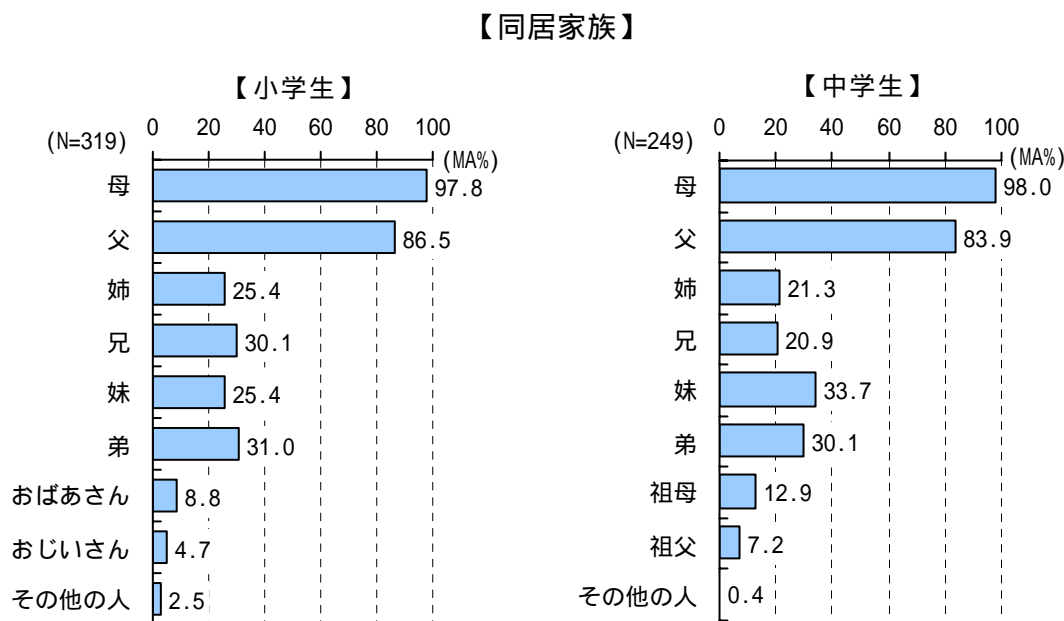
### 回答者の属性

#### 1. 性別



性別は、小学生は「女性」が51.1%（163人）、「男性」が48.9%（156人）となっています。中学生は「女性」が47.0%（117人）、「男性」が52.6%（131人）となっています。

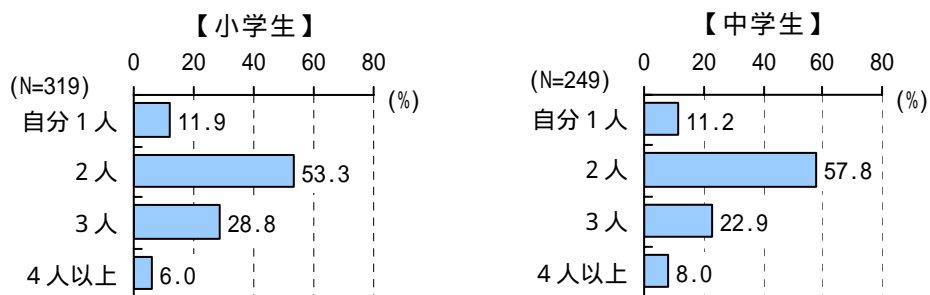
#### 2. 同居家族



同居家族は、小学生は「母」が97.8%、「父」が86.5%となっています。「兄」、「弟」は3割台、「姉」、「妹」は2割台となっています。同居している兄弟の人数の平均は、「姉」が1.11人、「兄」が1.21人、「妹」が1.01人、「弟」が1.18人となっています。中学生は、「母」が98.0%、「父」が83.9%となっています。「妹」、「弟」は3割台、「姉」、「兄」は2割台となっています。同居している兄弟の人数の平均は、「姉」が1.23人、「兄」が1.15人、「妹」が1.15人、「弟」が1.08人となっています。

### 3. きょうだいの人数

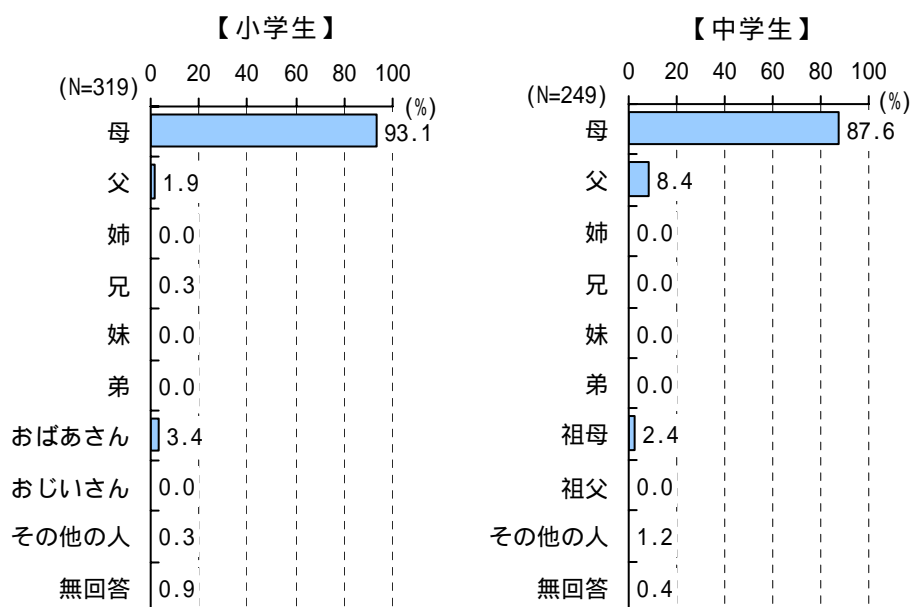
【きょうだいの人数】



自分を含めたきょうだいの人数は、小学生は、「2人」が53.3%、「3人」が28.8%、「自分1人」が11.9%、「4人以上」が6.0%となっています。中学生は、「2人」が57.8%、「3人」が22.9%、「自分1人」が11.2%、「4人以上」が8.0%となっています。

### 4. おもに家庭の仕事をしている人

【おもに家庭の仕事をしている人】

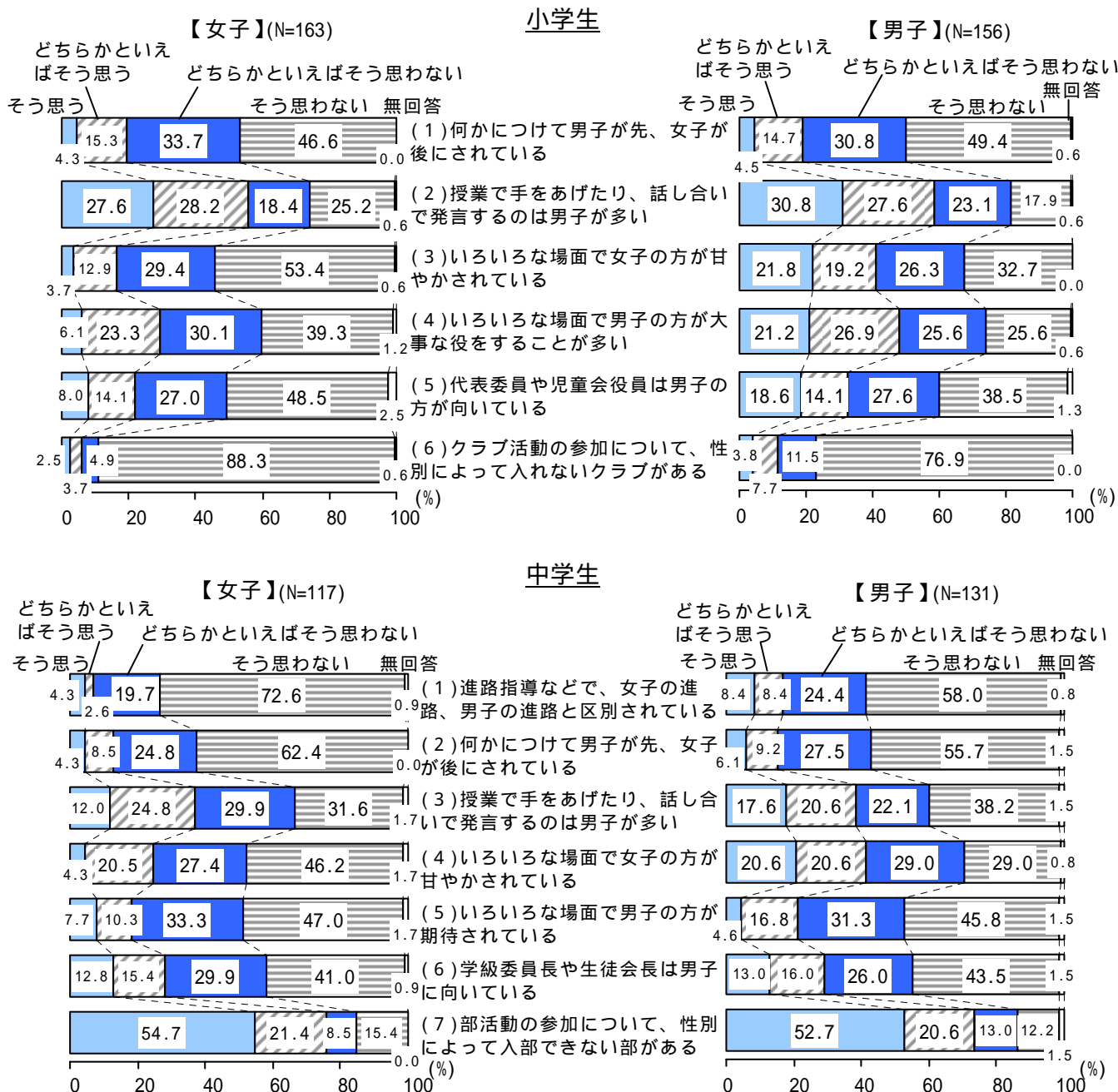


おもに家庭の仕事をしている人は、小学生は、「母」が93.1%となっています。次いで、「おばあさん」が3.4%、「父」が1.9%となっています。中学生は、「母」が87.6%となっています。次いで、「父」が8.4%、「祖母」が2.4%となっています。

## 1. 学校生活について

問5 学校での生活について聞きます。あてはまる番号をそれぞれ1つ選んでをつけてください。

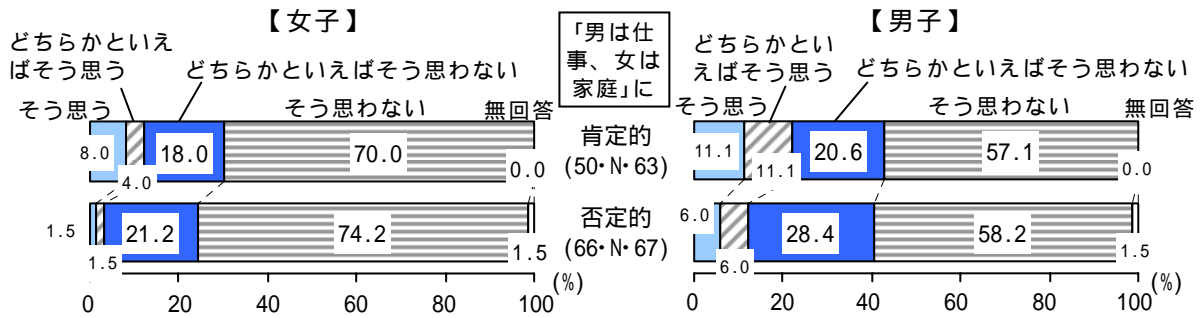
【図1-1 学校生活で感じること】



学校生活で感じることは、小学生の『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの)という人は男女とも「(2) 授業で手をあげたり、話し合いで発言するのは男子が多い」で高く、女子が55.8%、男子が58.4%となっています。中学生の『そう思う』という女子は「(3) 授業で手をあげたり、話し合いで発言するのは男子が多い」で36.8%と高く、男子は「(4) いろいろな場面で女子の方が甘やかされている」が41.2%と高くなっています。(図1-1)

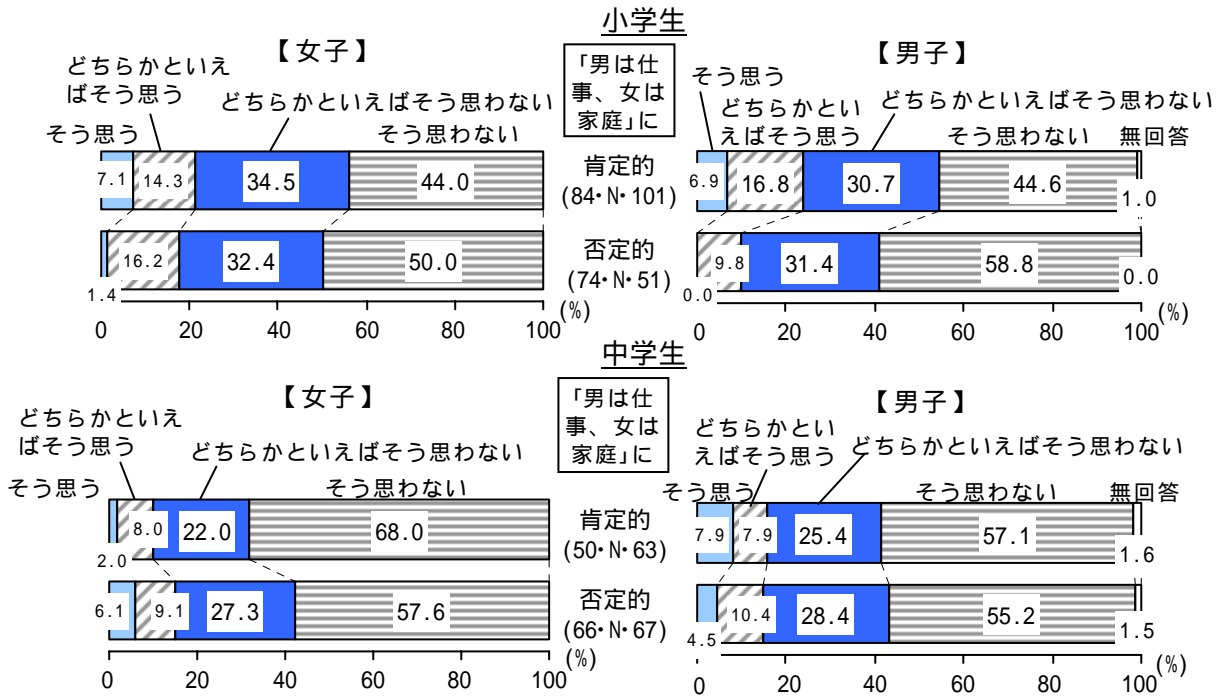
【図 1-1-1 性別役割分担意識別 学校生活で感じること】

進路指導などで、女子の進路、男子の進路と区別されているような感じがする(中学生のみ)



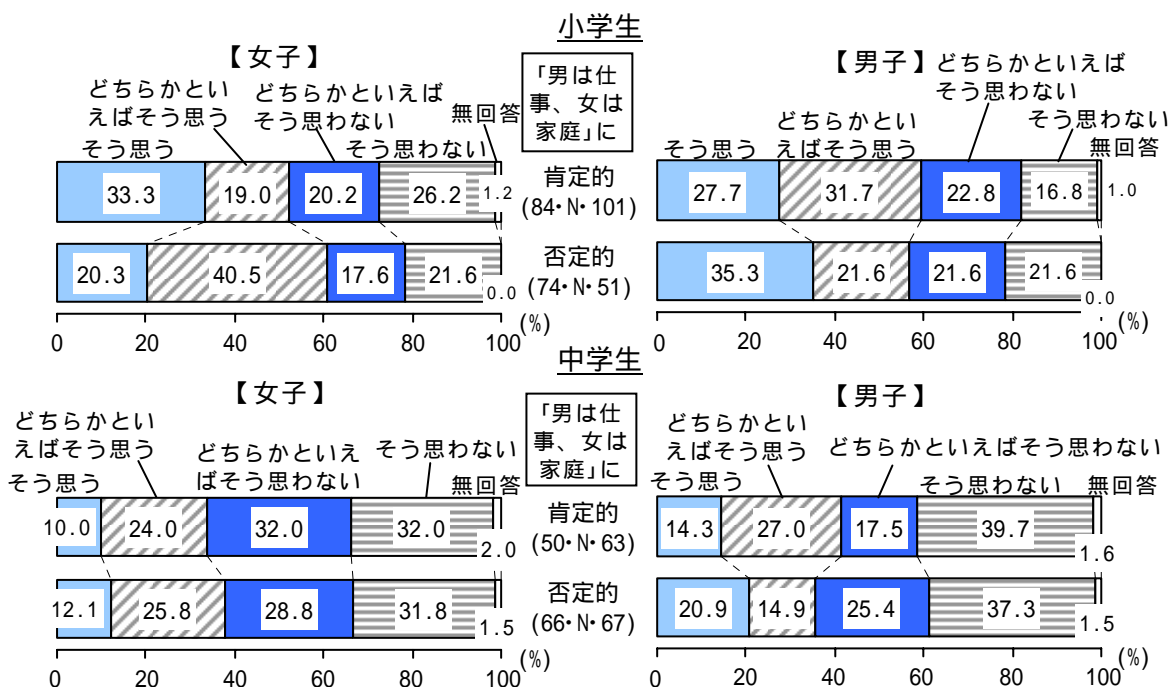
「男は仕事、女は家庭」に「肯定的」か「否定的」かで比べると、男女ともに役割分担に肯定的な人の方が、『そう思う』という意見が高くなっています。『そう思わない』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせたもの)という意見は否定的な人で高く、特に女子では95.4%と高くなっています。

何かにつけて男子が先、女子が後にされている



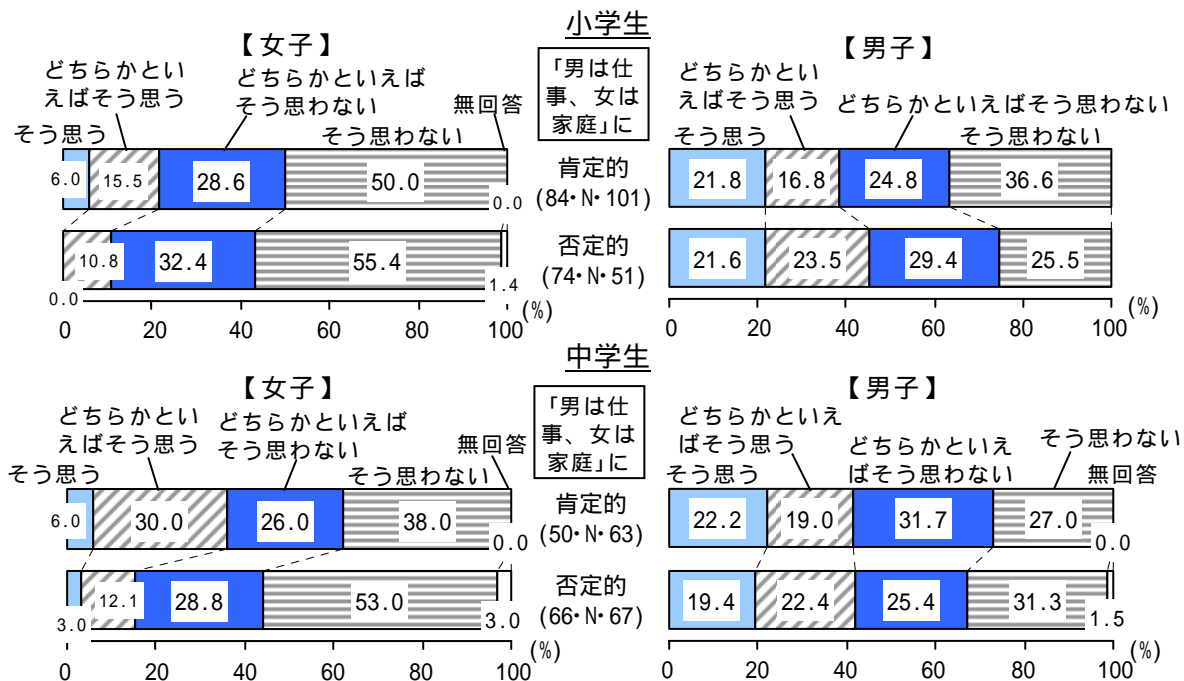
「男は仕事、女は家庭」に「肯定的」か「否定的」かで比べると、小学生では男女ともに役割分担に肯定的な人の方が、『そう思う』という意見が高くなっていますが、中学生では女子で役割分担に否定的な人の方が、『そう思う』という意見は高くなっています。

授業で手をあげたり、話し合いで発言するのは男子が多い



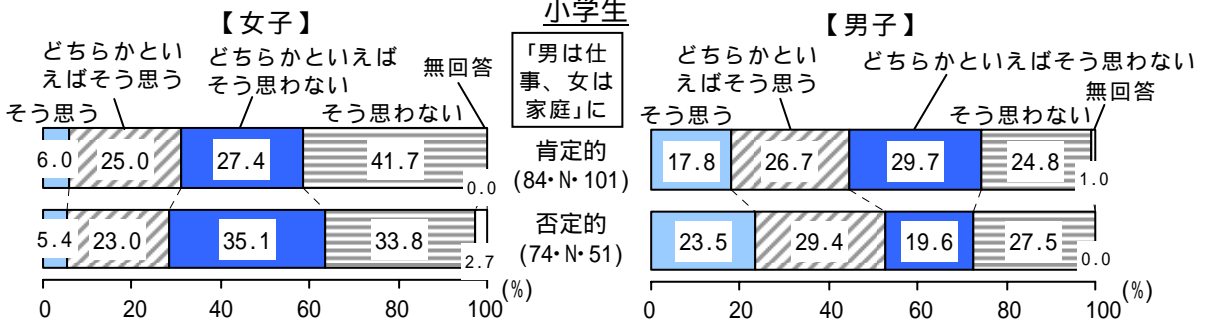
「男は仕事、女は家庭」に「肯定的」か「否定的」かで比べると、小学生の女子では「そう思う」は役割分担に肯定的な人の方が高くなっていますが、男子では否定的な人の方が高くなっています。中学生では「そう思う」は男女ともに否定的な人の方が高くなっています。

いろいろな場面で女子の方が甘やかされている

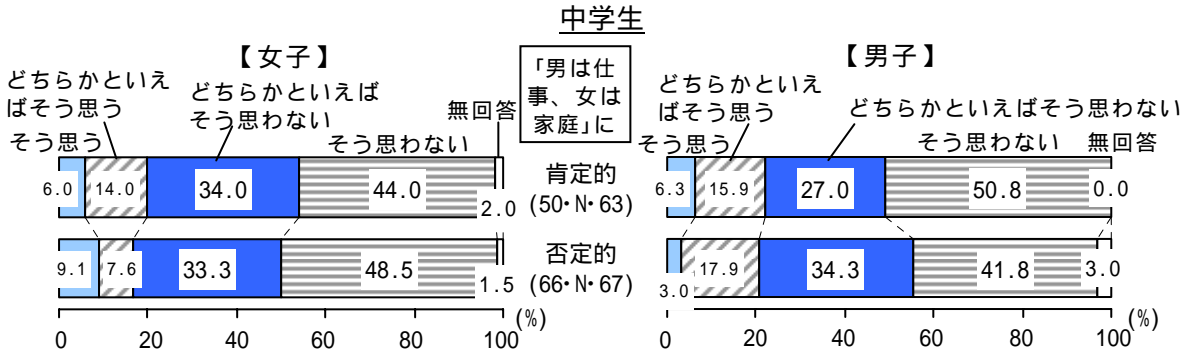


「男は仕事、女は家庭」に「肯定的」か「否定的」かで比べると、小学生、中学生ともに女子では『そう思う』は役割分担に肯定的な人の方が高く、男子では否定的な人の方が高くなっています。

いろいろな場面で男子の方が大事な役をすることが多い

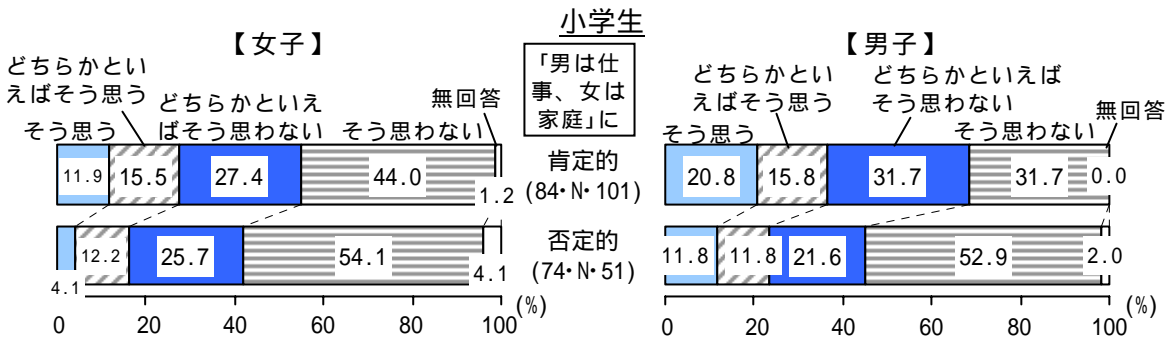


いろいろな場面で男子の方が期待されている

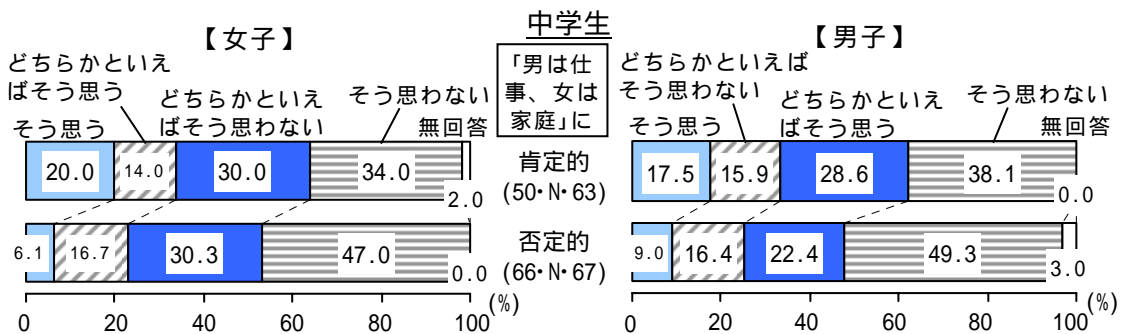


「男は仕事、女は家庭」に「肯定的」か「否定的」かで比べると、小学生は、男子の方が大事な役をすることが多い、に『そう思う』が女子では役割分担に肯定的な人の方が、男子では否定的な人の方が高くなっています。中学生では男女ともに肯定的な人の方が高くなっています。

代表委員や児童会役員は男子の方が向いている

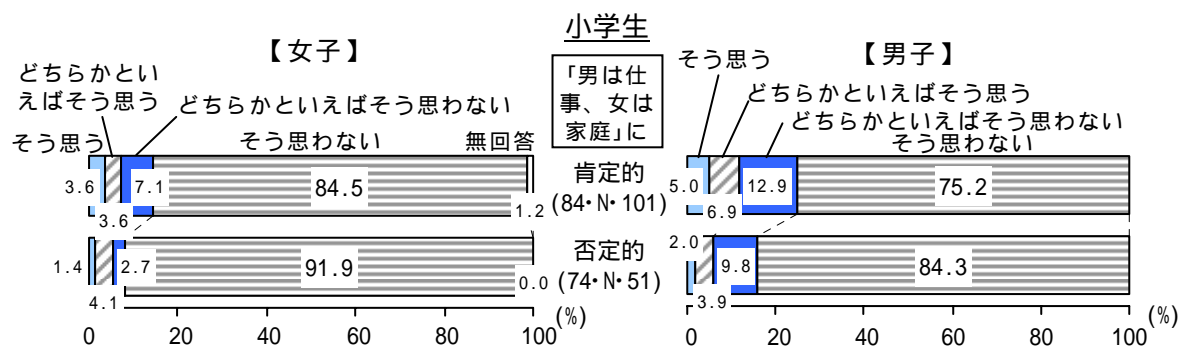


学級委員長や生徒会長は男子に向いている

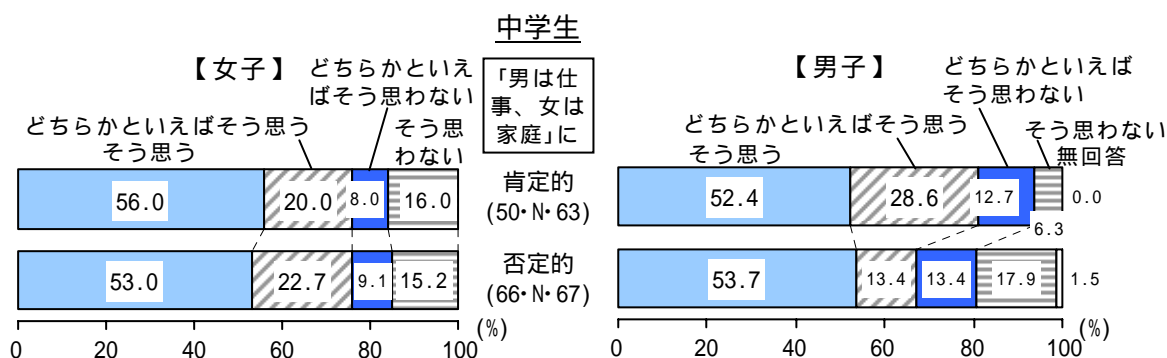


「男は仕事、女は家庭」に「肯定的」か「否定的」かで比べると、小学生、中学生ともに『そう思う』は男女とも肯定的な人の方が高くなっています。

クラブ活動の参加について、性別によって入れないクラブがある



部活動の参加について、性別によって入部できない部がある

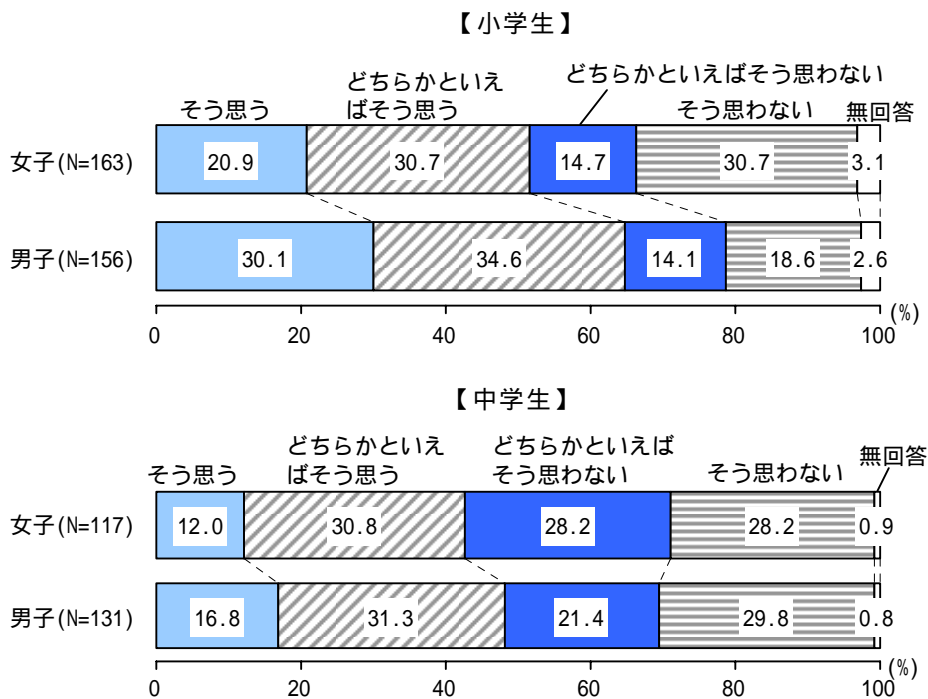


「男は仕事、女は家庭」に「肯定的」か「否定的」かで比べると、小学生では男女ともに『そう思う』は肯定的な人の方が高くなっています。中学生では、『そう思う』は女子では役割分担に肯定的、否定的な人いずれも同程度となっていますが、男子では肯定的な人の方が高くなっています。

## 2. 家庭・子育てについて

問6 「男は仕事、女は家事・子育て」という考え方がありますが、この考え方についてどう思いますか。( は1つ)

【図2 - 1 「男は仕事、女は家事・子育て」という考え方についての意見】

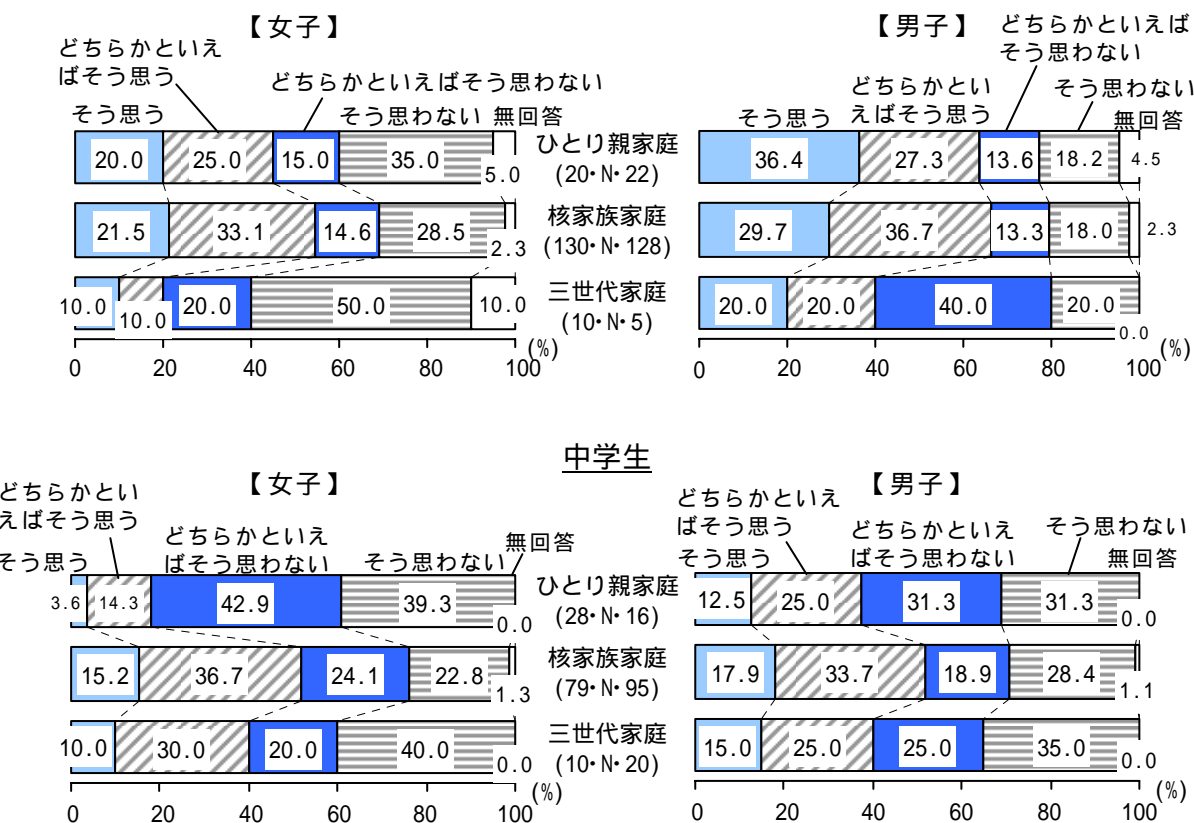


「男は仕事、女は家事・子育て」という考え方についての意見は、小学生は『そう思う』が女子で51.6%、男子で64.7%と男子の方が高くなっています。

中学生では『そう思う』は女子で42.8%、男子で48.1%と男子の方が高くなっていますが、小学生と比べると男女とも割合は低くなっています。(図2 - 1)



【図 2-1-1 家族形態別 「男は仕事、女は家事・子育て」という考え方についての意見】  
小学生

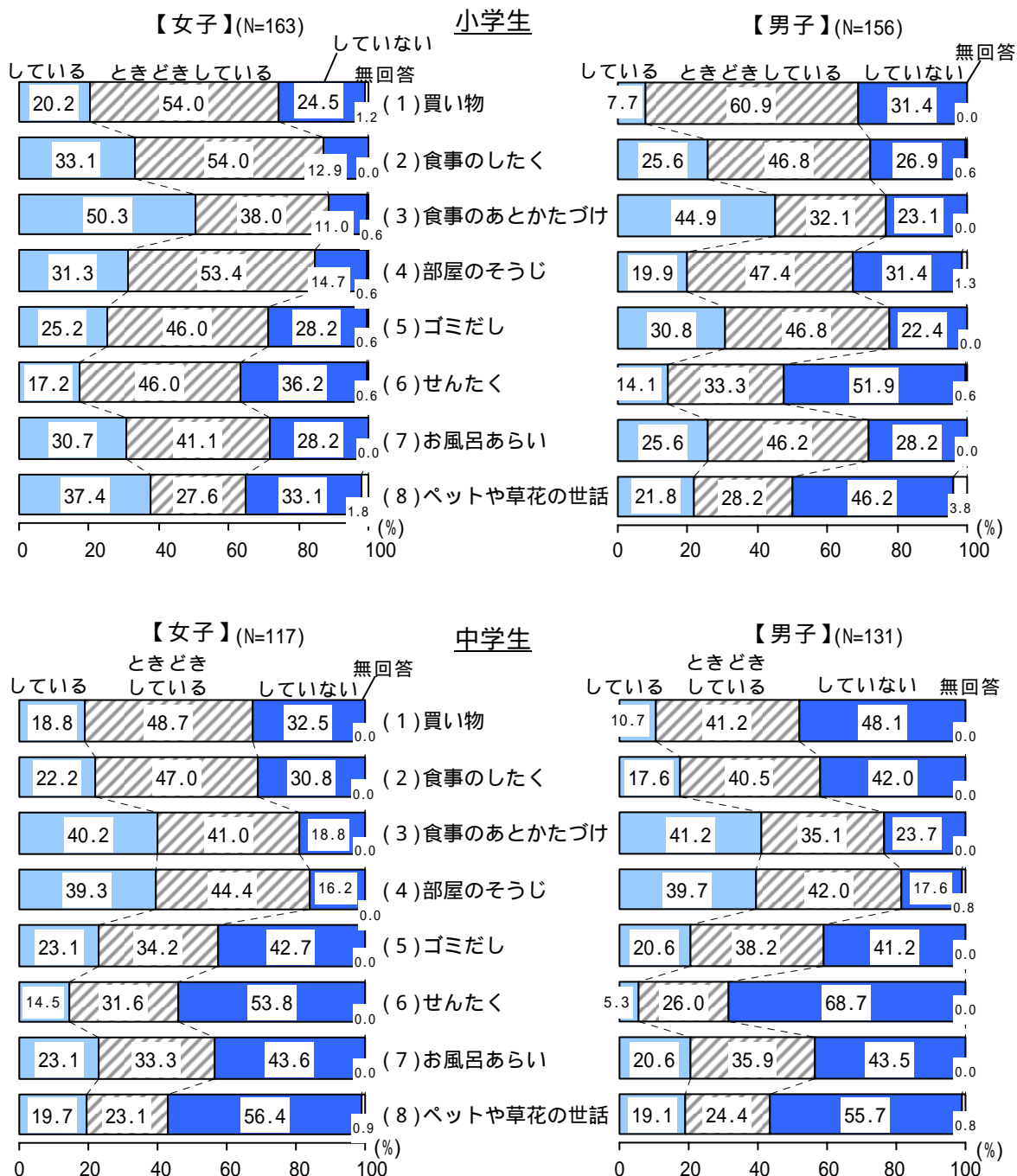


家族形態別にみると、小学生では男女とも『そう思う』は核家族家庭で高くなっています。ひとり親家庭では『そう思う』は女子で45.0%となっていますが、男子では63.7%と男女差が大きくなっています。

中学生では、小学生と同様、『そう思う』は核家族家庭で高くなっていますが、ひとり親家庭で低くなっています。特に女子では17.9%と低くなっています。(図 2-1-1)

問7 あなたは次のような手伝いや自分の身の回りのことをしていますか。( はそれぞれ1つ)

【図2-2 手伝いや身の回りのことをする頻度】

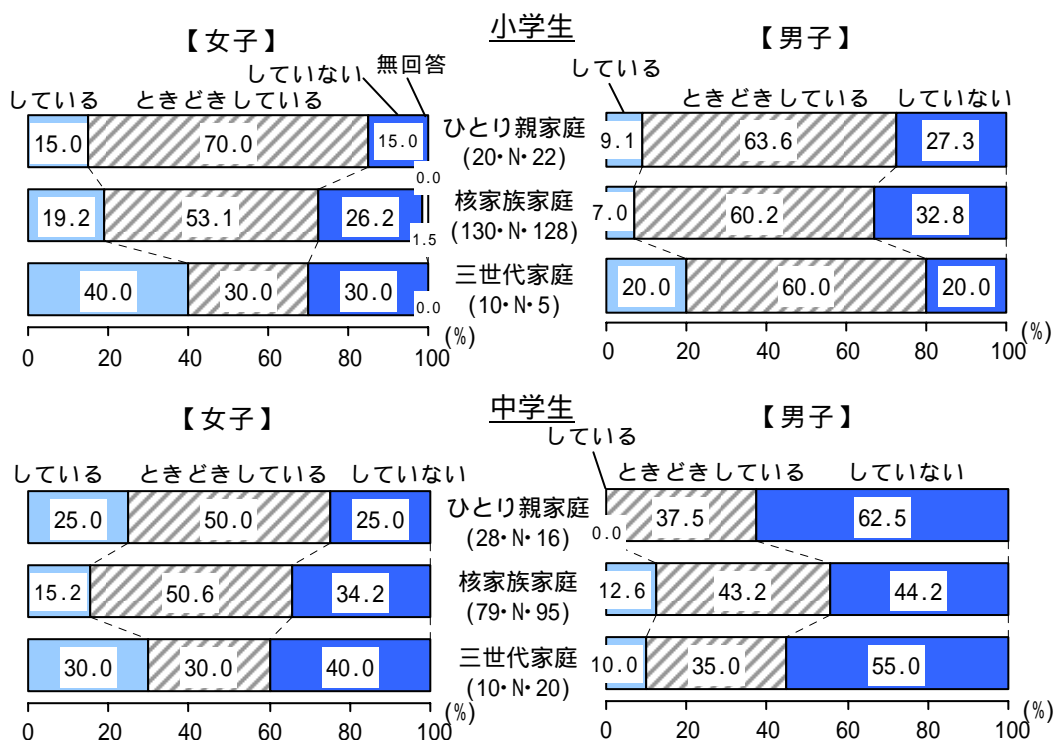


手伝いや身の回りのことをする頻度は、小学生は、男女とも「している」が「(3) 食事のあとかたづけ」で高く、女子で 50.3%、男子で 44.9%となっています。次いで、女子は「(8) ペットや草花の世話」で「している」が 37.4%、男子は「(5) ゴミだし」で 30.8%となっています。

中学生では、男女ともに「している」は「(3) 食事のあとかたづけ」、「(4) 部屋のそうじ」で高く、4 割前後となっています。(図2-2)

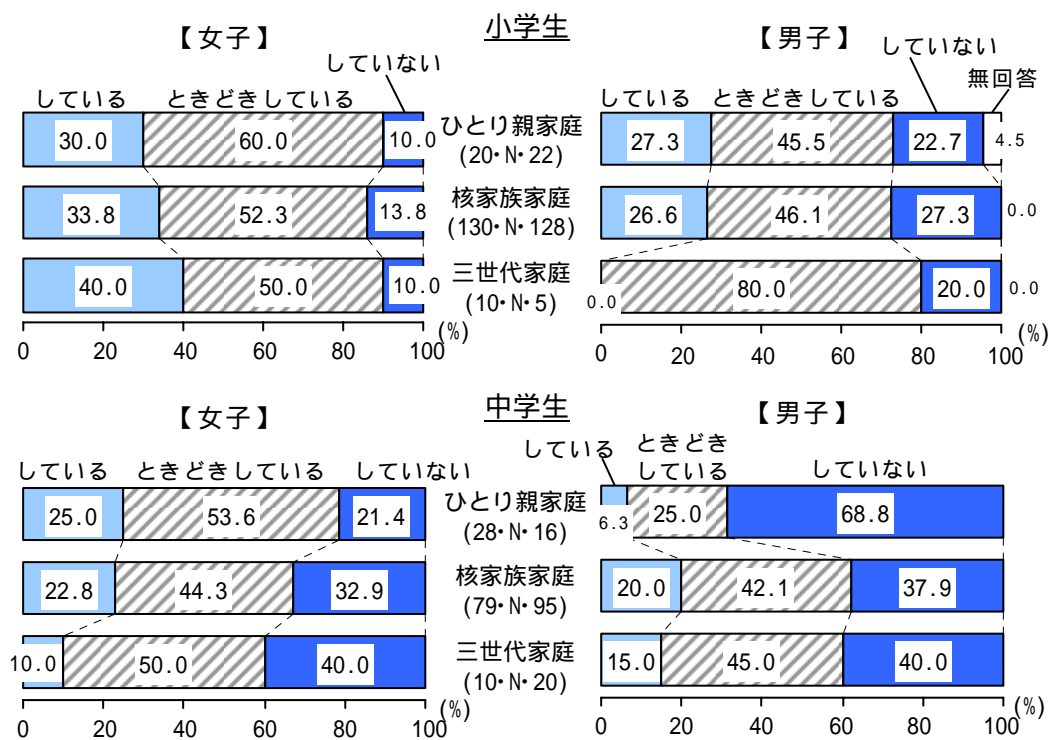
【図 2-2-1 家族形態別 手伝いや身の回りのことをする頻度】

(1) 買い物



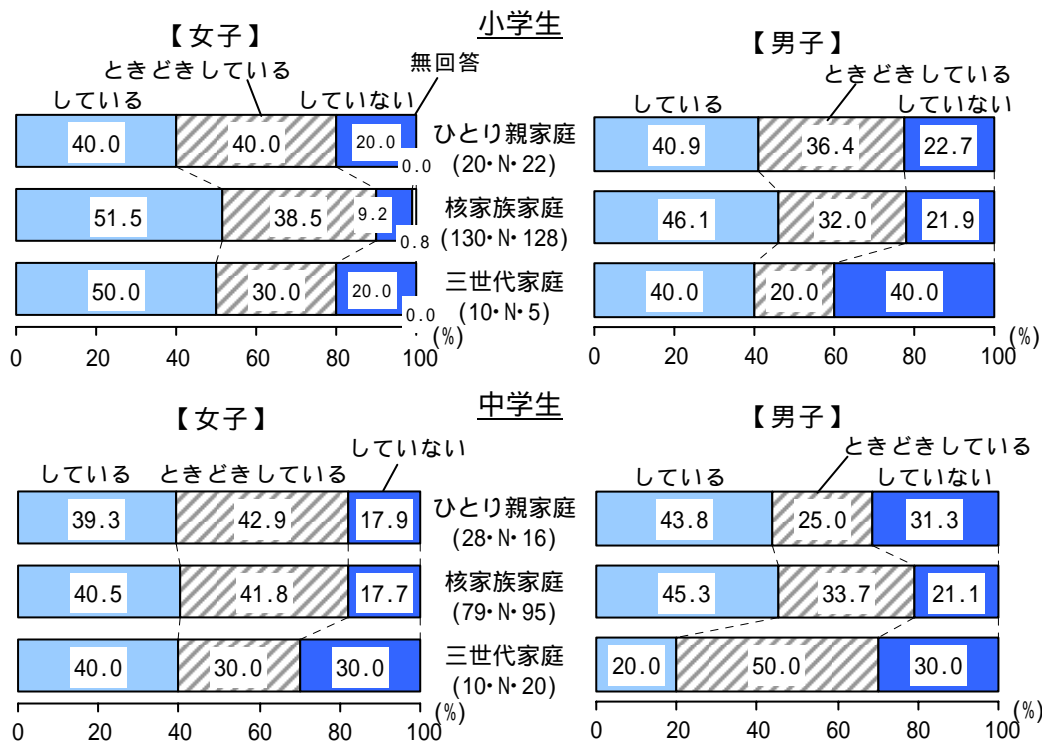
家族形態別にみると、小学生の核家族家庭では「している」という人は、女子の方が12.2ポイント高くなっていますが、中学生の核家族家庭では男女で大きな差はみられません。

(2) 食事のしたく



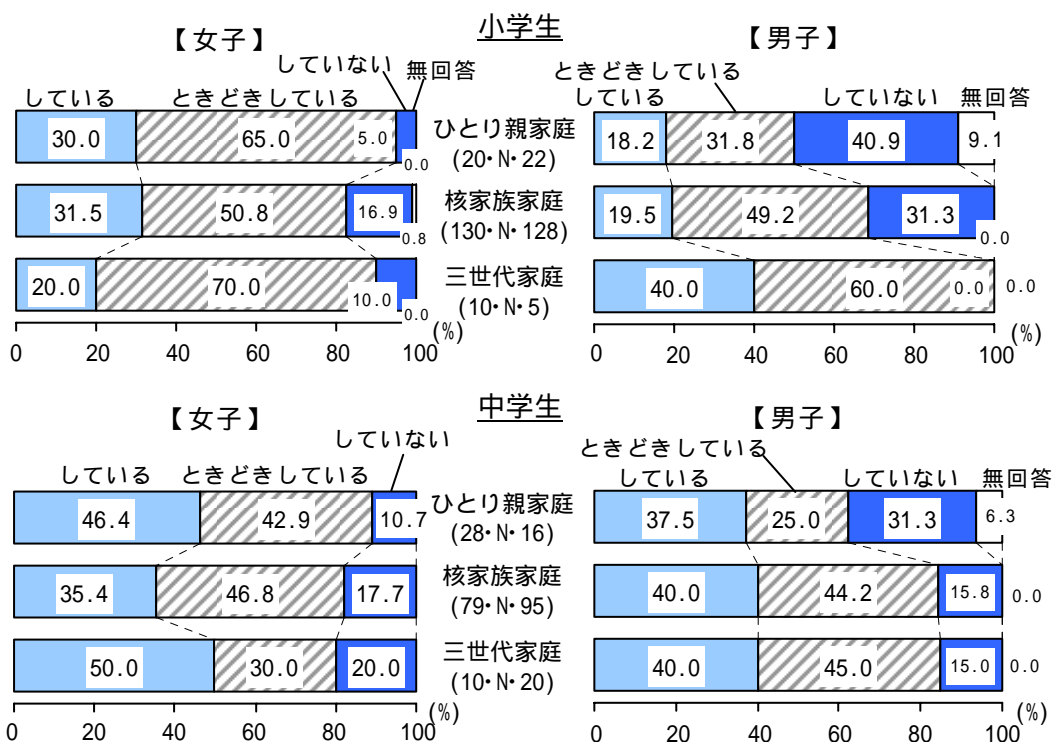
家族形態別にみると、小学生で「している」という人はひとり親家庭、核家族家庭ともに女子では3割台、男子は2割台となっています。

(3) 食事のあとかたづけ



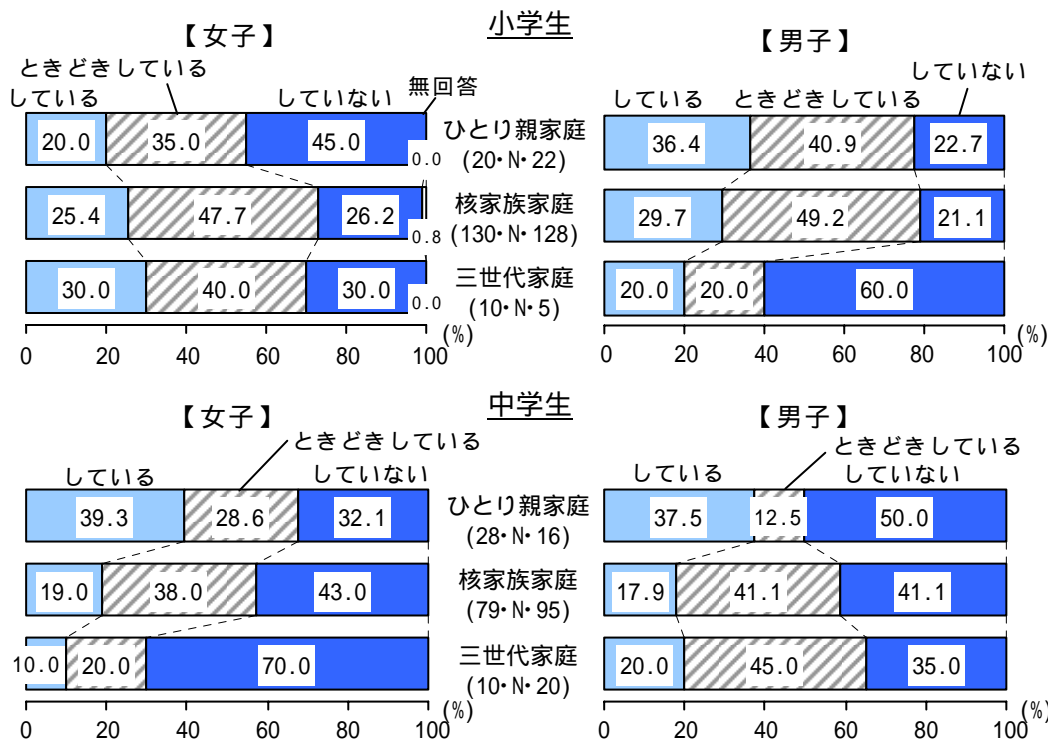
家族形態別にみると、小学生で「している」という人は男女とも核家族家庭で高くなっています。中学生では女子はどの家庭でも約4割と同程度、男子はひとり親家庭、核家族家庭で4割台となっています。

(4) 部屋のそうじ



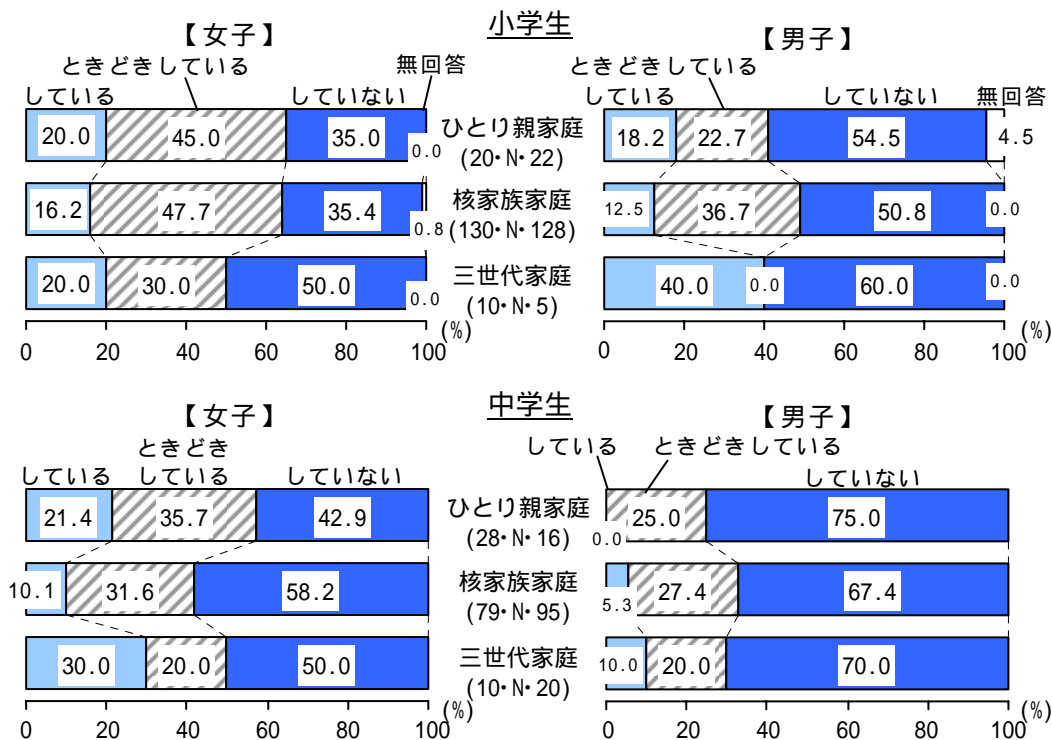
家族形態別にみると、小学生で「している」という人は、ひとり親家庭、核家族家庭で男子よりも女子の方が高くなっています。中学生の女子では核家族家庭で低くなっています。

(5) ゴミだし



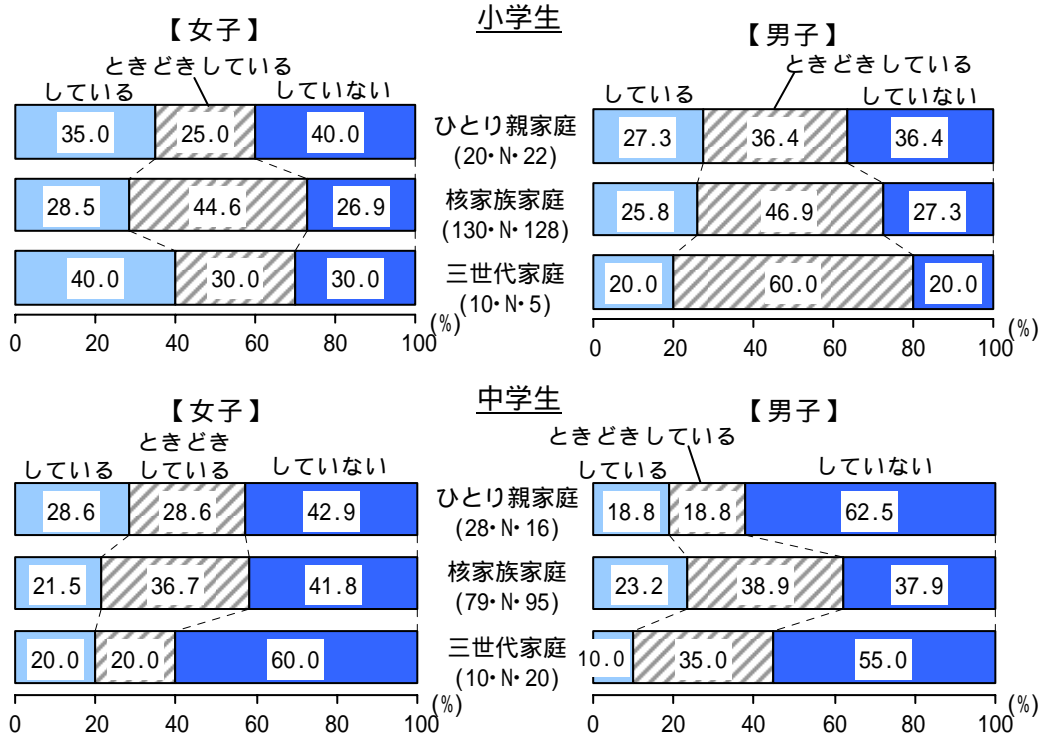
家族形態別にみると、小学生で「している」という人は女子では構成人員が多い家庭ほど割合は高くなっています。中学生では男女ともひとり親家庭で高くなっています。

(6) せんたく



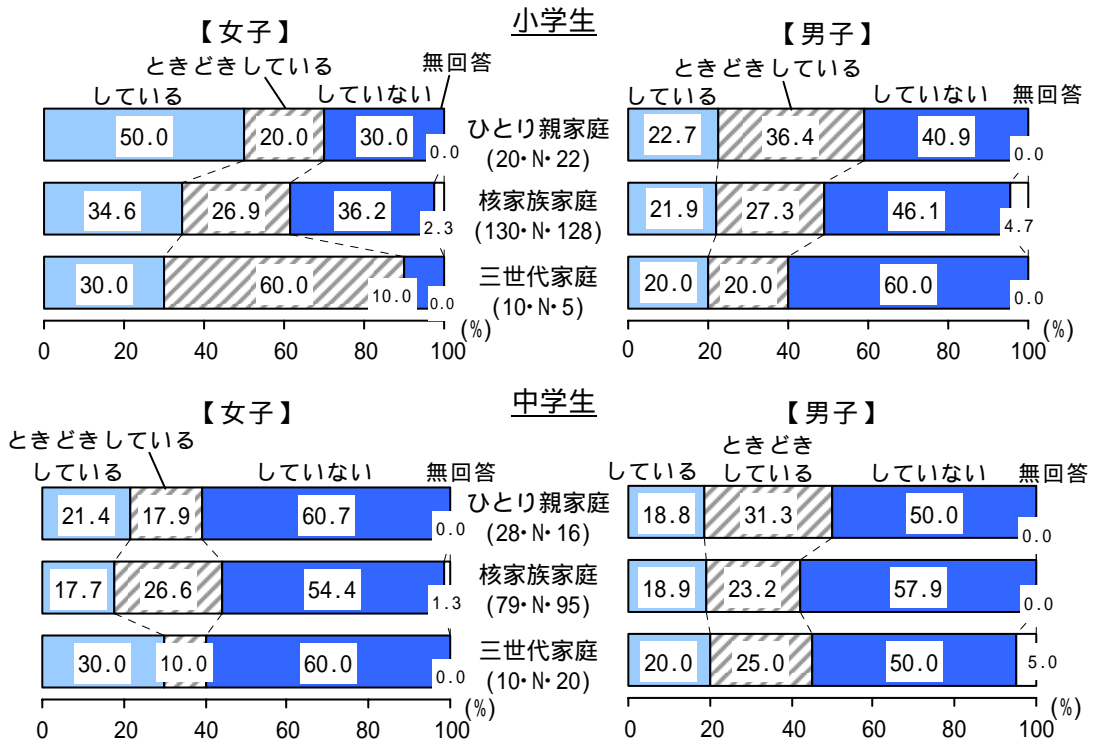
家族形態別にみると、小学生で「している」という人は男女とも核家族家庭で若干低くなっています。

(7) お風呂あらい



家族形態別にみると、小学生、中学生ともに核家族家庭では『している』という人の男女差は小さくなっています。

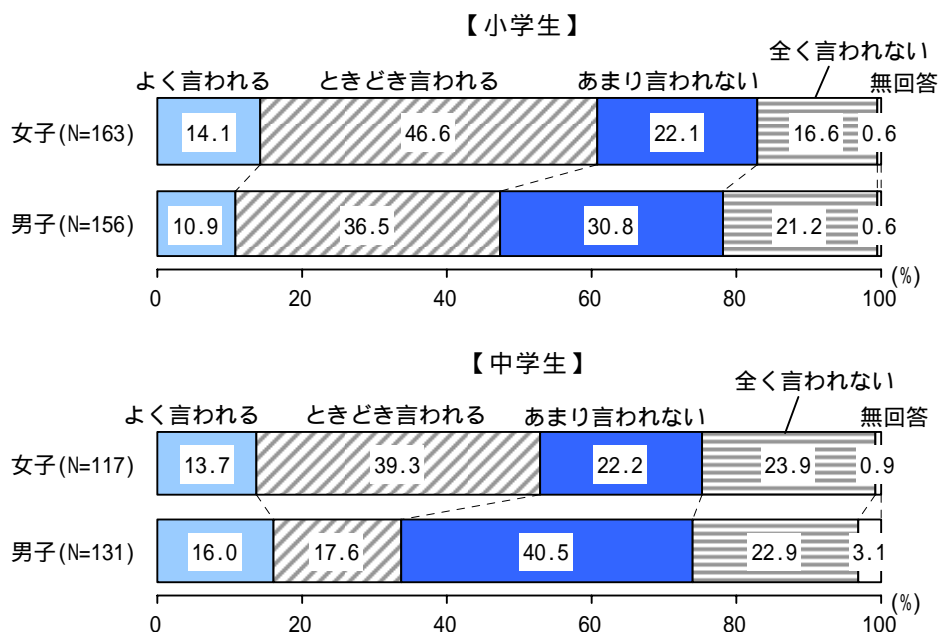
(8) ペットや草花の世話



家族形態別にみると、「している」という人は小学生の女子ではひとり親家庭で高くなっています。男子は小・中学生ともに差はみられません。

問8 あなたは「男だから」や「女だから」のように言われたことがありますか。  
( は1つ)

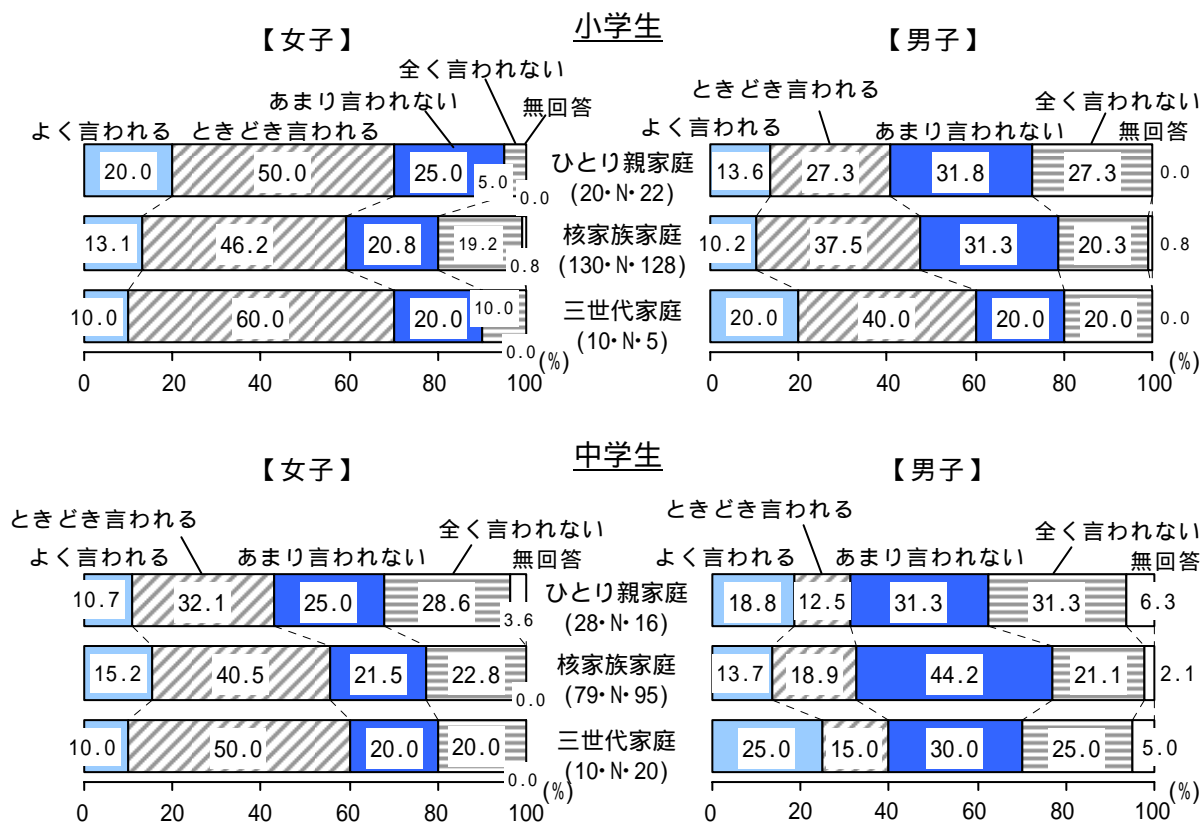
【図2-3 「男だから」や「女だから」と言われた経験の有無】



「男だから」や「女だから」と言われた経験の有無は、小学生は『言われる』(「よく言われる」、「ときどき言われる」を合わせたもの)という人は女子で60.7%、男子で47.4%となっています。

中学生では、『言われる』という人は女子で53.0%、男子で33.6%と小学生と比べると男女とも小学生の方が割合は高くなっています。(図2-3)

【図 2-3-1 家族形態別 「男だから 」や「女だから 」と言われた経験の有無】



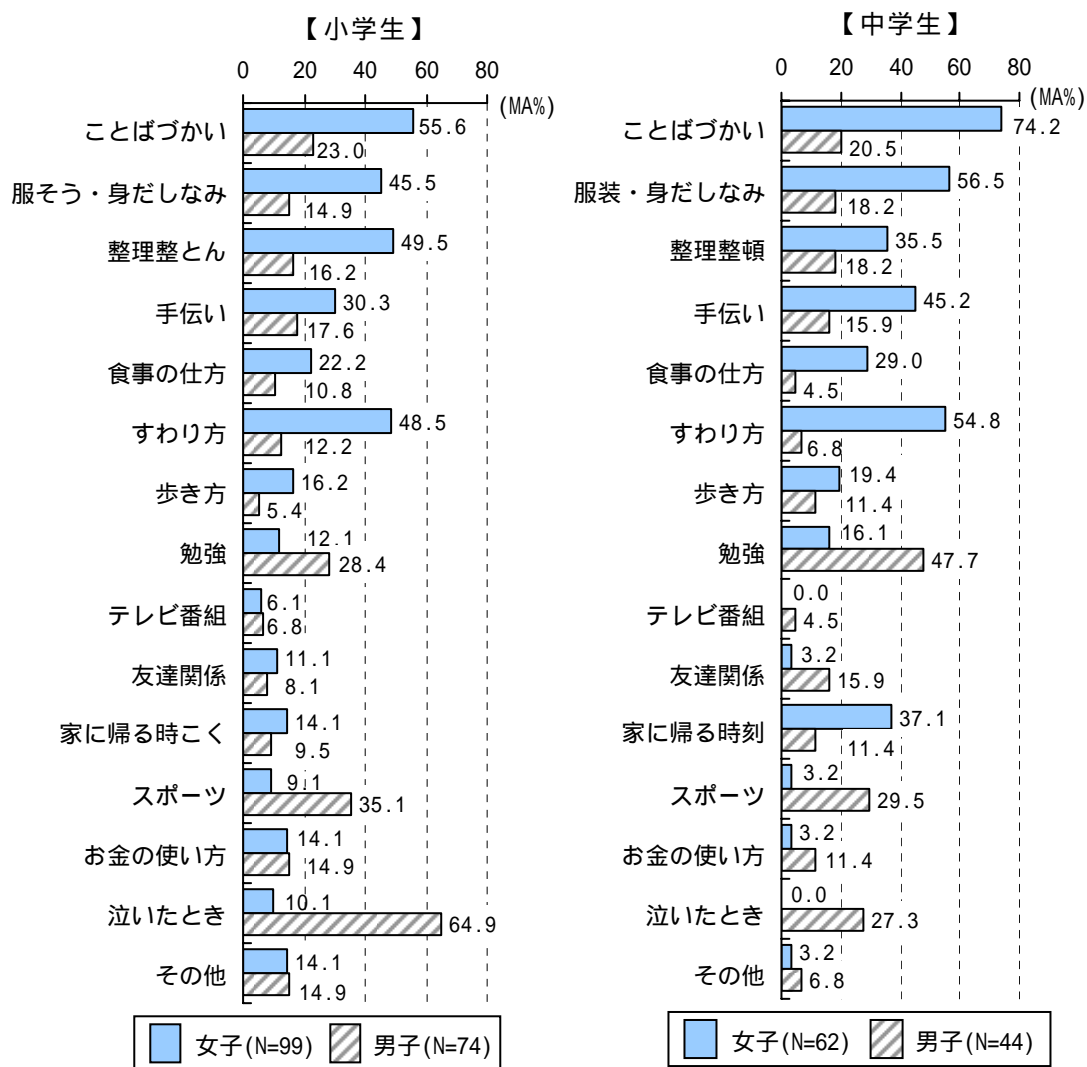
家族形態別にみると、中学生の核家族家庭では、男子で『言われる』という人は32.6%と低く、女子の55.7%と比べると23.1ポイントの男女差となっています。(図 2-3-1)



問8で「1.よく言われる」、「2.ときどき言われる」と答えた方に質問します。

問8-1 どんなことで言われましたか。(はいくつでも)

【図2-4 「男だから」や「女だから」と言われた原因】



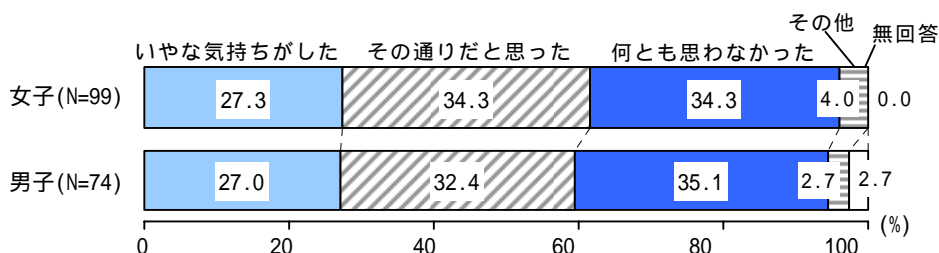
「男だから」や「女だから」と言われた原因は、小学生は女子で「ことばづかい」55.6%と最も高く、次いで、「整理整頓」が49.5%、「すわり方」が48.5%となっています。男子は「泣いたとき」が64.9%と最も高く、次いで、「スポーツ」が35.1%、「勉強」が28.4%となっています。

中学生では女子で「ことばづかい」が74.2%と最も高く、次いで、「服装・身だしなみ」が56.5%、「すわり方」が54.8%となっています。男子は「勉強」が47.7%と最も高く、次いで、「スポーツ」が29.5%、「泣いたとき」が27.3%となっています。(図2-4)

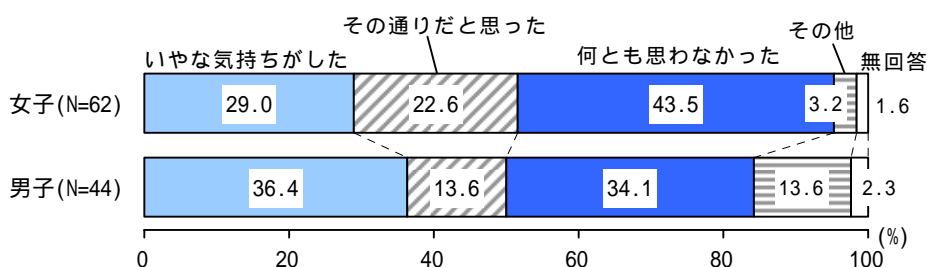
問8-2 あなたは言われた時どんな気持ちになりましたか。( は1つ)

【図2-5 「男だから 」や「女だから 」と言われた時の気持ち】

【小学生】



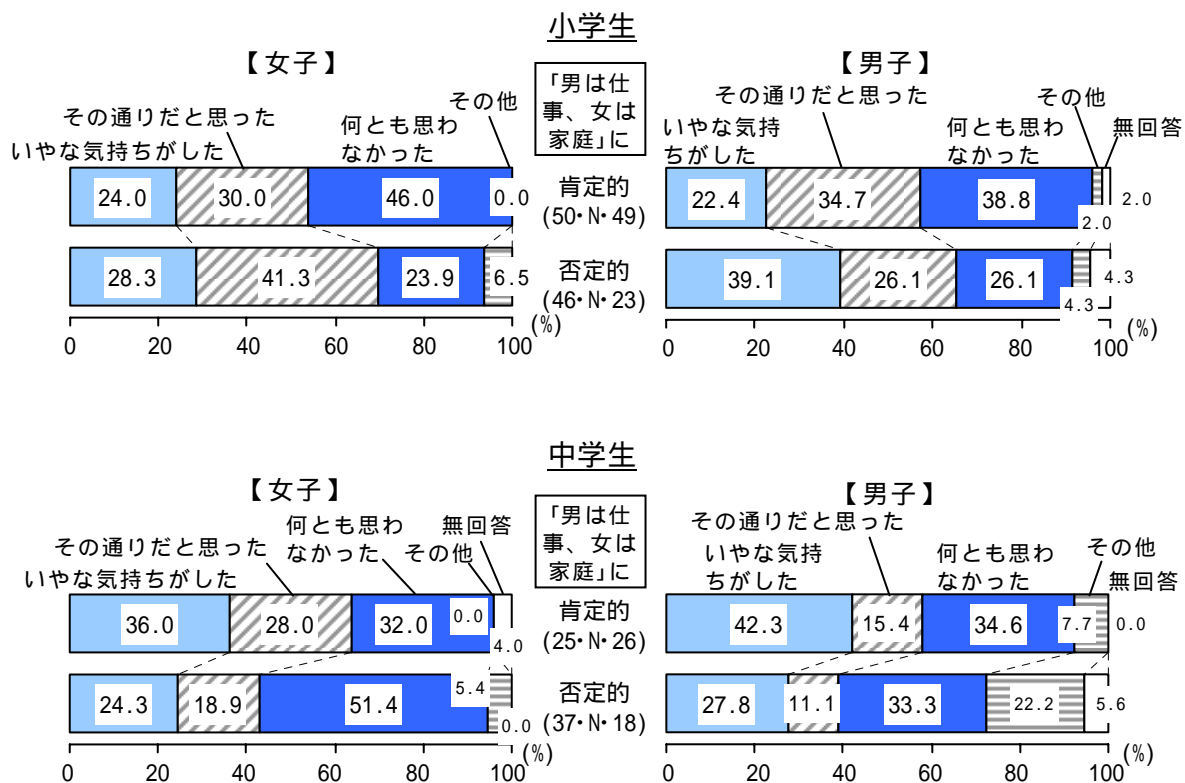
【中学生】



「男だから 」や「女だから 」と言われた時の気持ちは、小学生は「いやな気持ちでした」が女子で27.3%、男子で27.0%と同程度となっています。「その通りだと思った」、「何とも思わなかった」ともに大きな男女差はみられません。

中学生では、「いやな気持ちでした」が女子で29.0%、男子で36.4%と男子の方が高くなっています。一方、「その通りだと思った」は女子で22.6%、男子で13.6%と女子の方が高くなっています。小学生と比べると、「いやな気持ちでした」は男女とも中学生の方が高く、「その通りだと思った」は男女とも小学生の方が高くなっています。「何とも思わなかった」は女子で中学生の方が高くなっています。(図2-5)

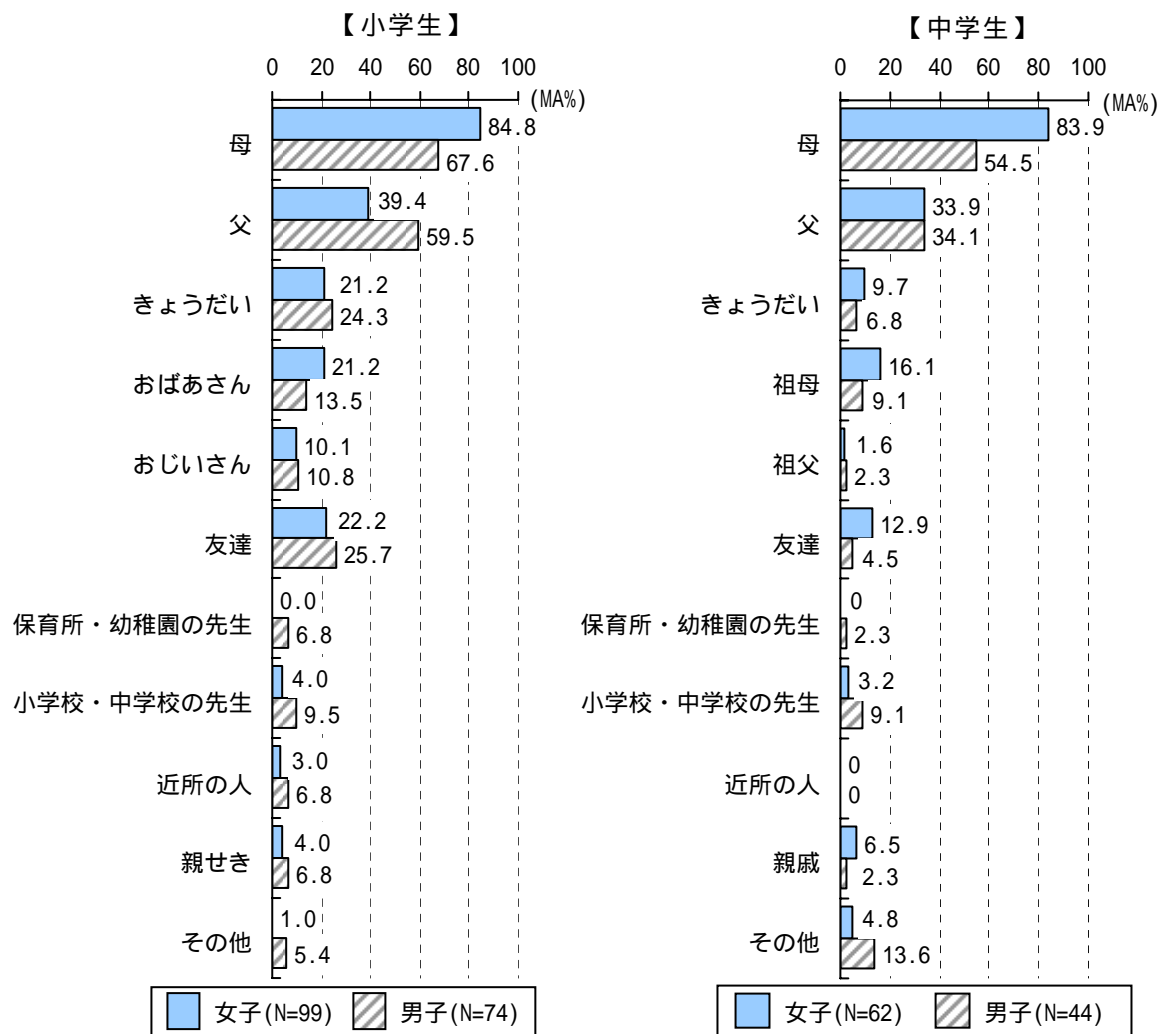
【図 2-5-1 性別役割分担意識別 「男だから 」や「女だから 」と言われた時の気持ち】



「男は仕事、女は家庭」という考え方に「肯定的」か「否定的」かで比べてみると、小学生では「いやな気持ちが出た」は男女ともに役割分担に否定的な人の方が高くなっています。(図 2-5-1)

問 8 - 3 それは誰に言われましたか。(はいいくつでも)

【図 2 - 6 「男だから」や「女だから」と言った相手】



「男だから」や「女だから」と言った相手は、小学生は男女ともに「母」が最も高く、女子で84.8%、男子で67.6%と女子の方が高くなっています。次いで、「父」が女子で39.4%、男子で59.5%と男子の方が高くなっています。

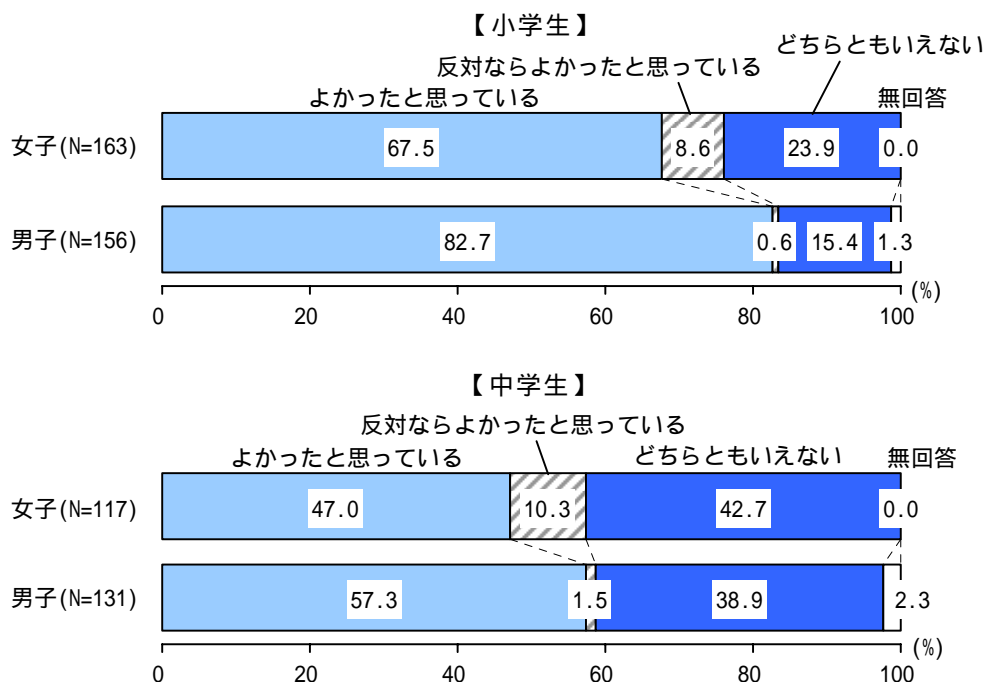
中学生でも男女とも「母」が最も高く、女子で83.9%、男子で54.5%と女子の方が高くなっています。次いで、「父」が女子で33.9%、男子が34.1%とほぼ同程度となっています。

小学生と比べると、「母」、「父」、「友達」は男女とも小学生の方が高くなっていますが、特に男子で差が大きくなっています。(図 2 - 6)



問9 あなたは現在、自分が男性または女性に生まれたことをどう思いますか。( は1つ)  
 問9 - 1 問9で回答した理由をご自由に記入してください。

【図2 - 7 現在の性で生まれたことについての考え】



現在の性で生まれたことについての考えは、小学生は、「よかったと思っている」が女子で67.5%、男子で82.7%と男子の方が高くなっています。一方、「反対ならよかったと思っている」は女子で8.6%、男子で0.6%と女子の方が高くなっています。

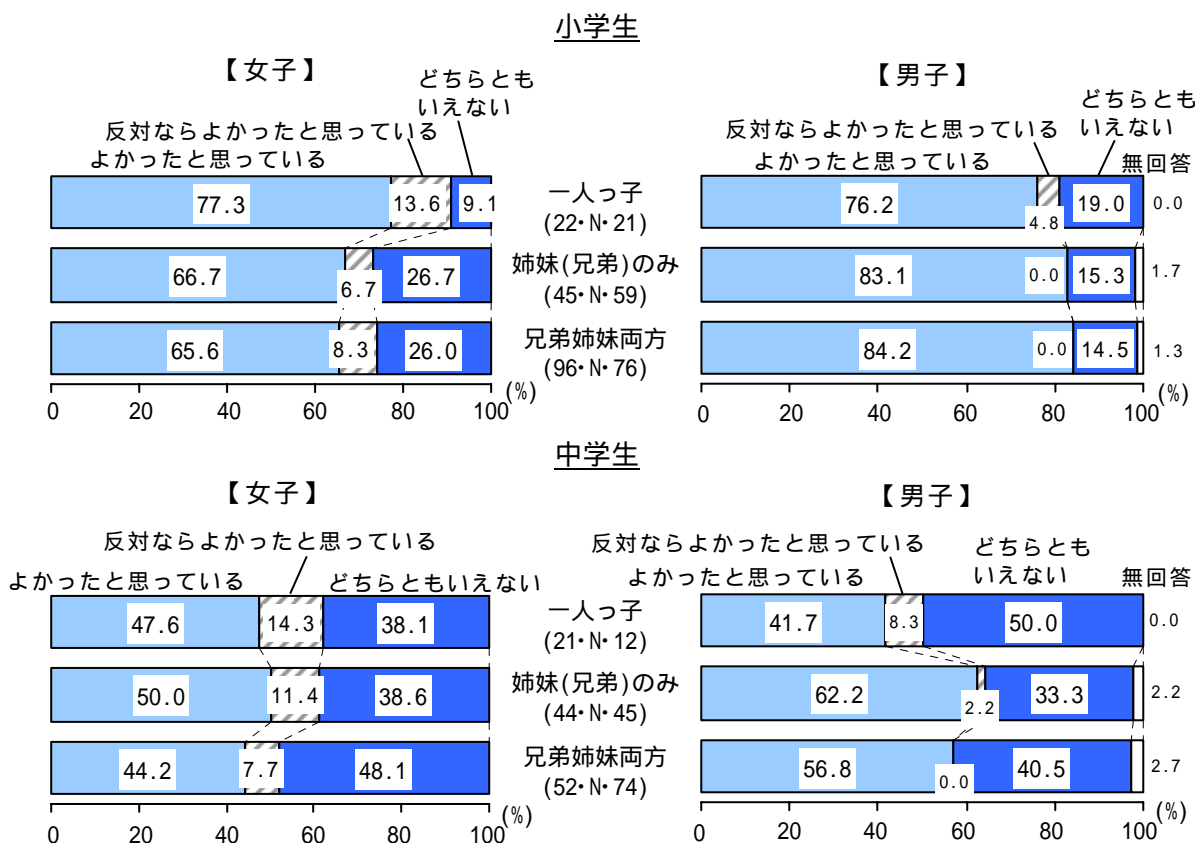
中学生では、「よかったと思っている」が女子で47.0%、男子で57.3%と男子の方が高くなっています。一方、「反対ならよかったと思っている」は女子で10.3%、男子で1.5%と女子の方が高くなっています。

小学生と比べると、「よかったと思っている」は男女とも小学生の方が高くなっています。「反対ならよかったと思っている」は男女とも中学生の方が高くなっています。(図2 - 7)

小学生で「よかったと思っている」を選んだ理由として多かったものは、女子では「おしゃれができる」や「子どもが産める」が多く、男子では「子どもを産まなくてもよい」、「スポーツが出来る」などが多くなっています。「反対ならよかったと思っている」を選んだ理由は、女子では「男のスポーツが出来る」が多くなっています。

中学生では「よかったと思っている」を選んだ理由として多かったものは、女子では「どちらでもよい」や「今の生活に満足している」が多く、男子では「なんとなく」、「今が幸せ」などが多くなっています。「反対ならよかったと思っている」を選んだ理由は、女子では「男の方が友達関係が良さそう」、「女は注意されることが多い」が多くなっています。

【図 2-7-1 きょうだい形態別 現在の性で生まれたことについての考え】



「姉妹(兄弟)のみ」は本人も含め、きょうだいの男女構成が女子のみ、男子のみの場合を指します。

「兄弟姉妹両方」は本人も含め、きょうだいに男女両方がいる場合を指します。

きょうだい形態別にみると、小学生で「よかったですと思っている」は、男兄弟のみ、女姉妹のみのきょうだいと兄弟姉妹の両性がそろったきょうだいを比べると、男女ともに大きな差はみられないが、中学生では、兄弟姉妹の両性がそろったきょうだいの方が「よかったですと思っている」は男女ともに低くなっています。(図 2-7-1)

### 3. 将来の仕事、結婚について

<小学生調査のみ>

問10 あなたが、将来なりたい職業を具体的に書いてください。

【表3 - 1 将来したい仕事（小学生）】

・主な意見

<女子>

先生（学校・幼稚園・保育園・ピアノ・保育士等含む）	20 件
パティシエ	11 件
漫画家	9 件
美容師	8 件
ファッションデザイナー	8 件
看護師	6 件
医者	6 件
ペットショップの店員	6 件
警察官	5 件
芸能人	5 件
花屋の店員	5 件
パン屋の店員	4 件
料理人	4 件
声優	4 件
デザイナー	3 件
バレーボール選手	3 件
バレリーナ	3 件
トリマー	3 件
陸上選手	2 件
まだわからない	13 件

<男子>

サッカー選手	25 件
プロ野球選手	25 件
会社員	7 件
先生（学校、幼稚園、水泳など）	6 件
警察官	6 件
芸人・芸能人	6 件
バスケット選手	5 件
水泳選手	5 件
大工	5 件
漫画家	5 件
陸上選手	4 件
ゲーム開発者	3 件
医者	3 件
建築士	2 件
オリンピック選手	2 件
電車の運転手	2 件
漁師	2 件
まだわからない	13 件

将来なりたい職業で多かったものは、女子では「先生（学校・幼稚園・保育園・ピアノ・保育士等含む）」が20件と最も多くなっています。次に「パティシエ」が11件、「漫画家」が9件、「美容師」、「ファッションデザイナー」が8件と続いています。「まだわからない」という人は13件となっています。男子では「サッカー選手」、「プロ野球選手」がともに25件と最も多く、次いで、「会社員」が7件、「先生（学校、幼稚園、水泳など）」、「警察官」、「芸人・芸能人」が6件と続いています。「まだわからない」という人は13件となっています。（表3 - 1）



< 以降の設問は、中学生調査のみで実施 >

問10 あなたは、将来どのような仕事につきたいと思いますか。( は3つまで)

【表3 - 1 将来したい仕事(中学生)】

問10 将来したい仕事 (上段:実数 下段:構成比)

	全体	会社員、銀行員	起業家、会社社長	学校の先生	保育園、幼稚園の先生	学者、博士	警察官、刑事	弁護士、検察官、裁判官など	消防士、救急隊、レスキュー隊、自衛官	医者、歯医者	看護師など病院で働く人	福祉施設で働く人
全体	249 100.0	17 6.8	8 3.2	26 10.4	27 10.8	6 2.4	11 4.4	7 2.8	11 4.4	7 2.8	9 3.6	3 1.2
女子	117 100.0	5 4.3	2 1.7	13 11.1	25 21.4	-	1 0.9	2 1.7	-	1 0.9	9 7.7	3 2.6
男子	131 100.0	12 9.2	6 4.6	13 9.9	2 1.5	6 4.6	10 7.6	5 3.8	11 8.4	6 4.6	-	-

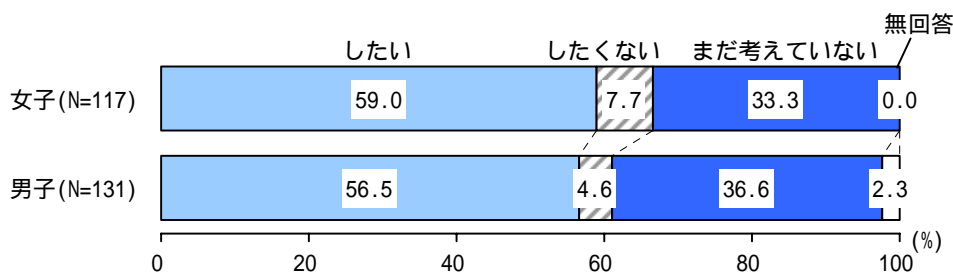
	自動車、電車の運転手	自動車、機械などのエンジニア	宇宙飛行士	飛行機のパイロット	客室乗務員(キャビンアテンダント)	スポーツ選手	歌手、タレントなどの芸能人	マンガ家、イラストレーター	作家、音楽家、画家、デザイナー等	調理師、コックなど料理をつくる人	お店屋さん(ケーキ屋さん、パン屋さん、花屋さんなど)
全体	2 0.8	7 2.8	2 0.8	2 0.8	3 1.2	35 14.1	25 10.0	15 6.0	22 8.8	10 4.0	13 5.2
女子	-	-	-	-	2 1.7	6 5.1	15 12.8	10 8.5	16 13.7	4 3.4	9 7.7
男子	2 1.5	7 5.3	2 1.5	2 1.5	1 0.8	29 22.1	10 7.6	5 3.8	6 4.6	6 4.6	4 3.1

	コンピューター関係の仕事	マスコミ(アナウンサー、記者)関係の仕事	美容師、理容師	建設業、大工など建てる人	農業、漁業、林業	動物園、水族館、ペットショップ、獣医など	公務員	その他	なりたい仕事がない	わからない、まだ考え	無回答
全体	10 4.0	5 2.0	13 5.2	7 2.8	3 1.2	17 6.8	20 8.0	42 16.9	10 4.0	45 18.1	4 1.6
女子	3 2.6	4 3.4	7 6.0	2 1.7	-	12 10.3	6 5.1	26 22.2	3 2.6	19 16.2	-
男子	7 5.3	1 0.8	6 4.6	5 3.8	3 2.3	5 3.8	14 10.7	16 12.2	7 5.3	25 19.1	4 3.1

将来したい仕事は、女子は「保育園、幼稚園の先生」が21.4%と最も高く、次いで、「作家、音楽家、画家、デザイナー等」が13.7%、「歌手、タレントなどの芸能人」が12.8%となっています。男子は「スポーツ選手」が22.1%と最も高く、次いで、「公務員」が10.7%、「学校の先生」が9.9%となっています。(表3 - 1 )

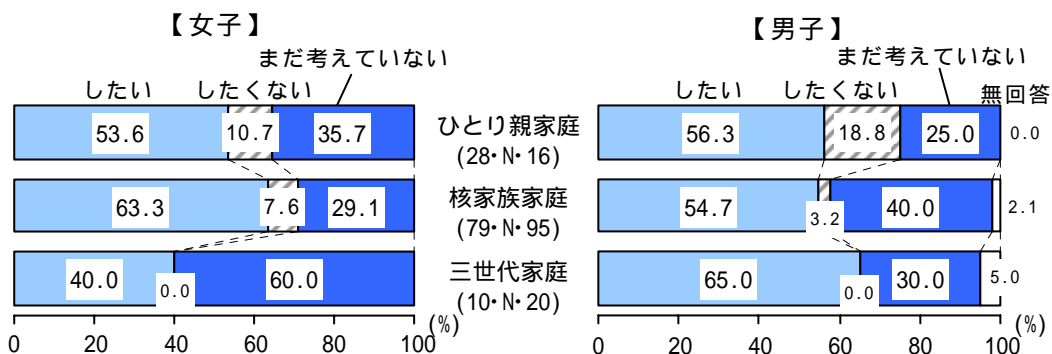
問 11 あなたは将来結婚したいと思いますか。( は1つ)

【図3-2 結婚願望の有無】



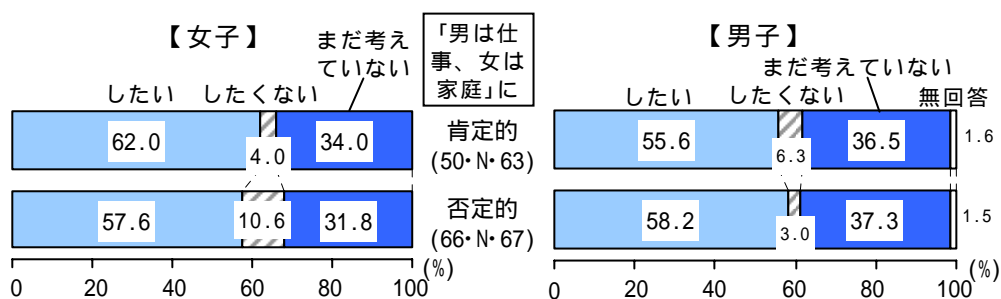
結婚願望の有無は、「したい」が女子で59.0%、男子で56.5%と女子の方が高くなっています。「したくない」も女子が7.7%、男子が4.6%と女子の方が高くなっています。(図3-2)

【図3-2-1 家族形態別 結婚願望の有無】



家族形態別にみると、核家族家庭で「したい」という人は女子で63.3%と高く、男子よりも8.6ポイント高くなっています。「したくない」という人も、核家族家庭では女子の方が高くなっています。(図3-2-1)

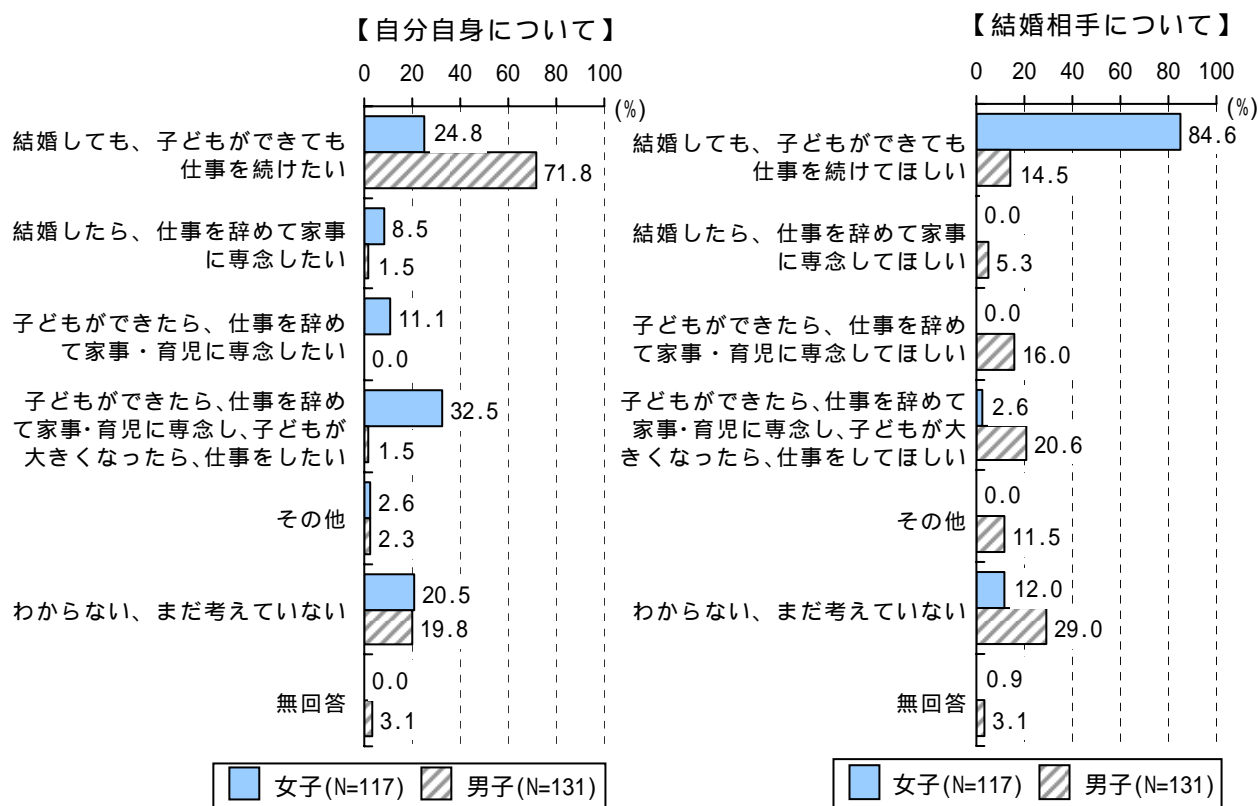
【図3-2-2 性別役割分担意識別 結婚願望の有無】



「男は仕事、女は家庭」という考え方に「肯定的」か「否定的」かで比べてみると、女子では「したい」という人は役割分担に肯定的な人の方が高くなっているのに対し、男子では否定的な人の方が高くなっています。(図3-2-2)

問12 あなたは将来結婚するとしたら、あなた自身とパートナー（結婚相手）の生活スタイルをどのようにしたいですか。（ はそれぞれ1つ）

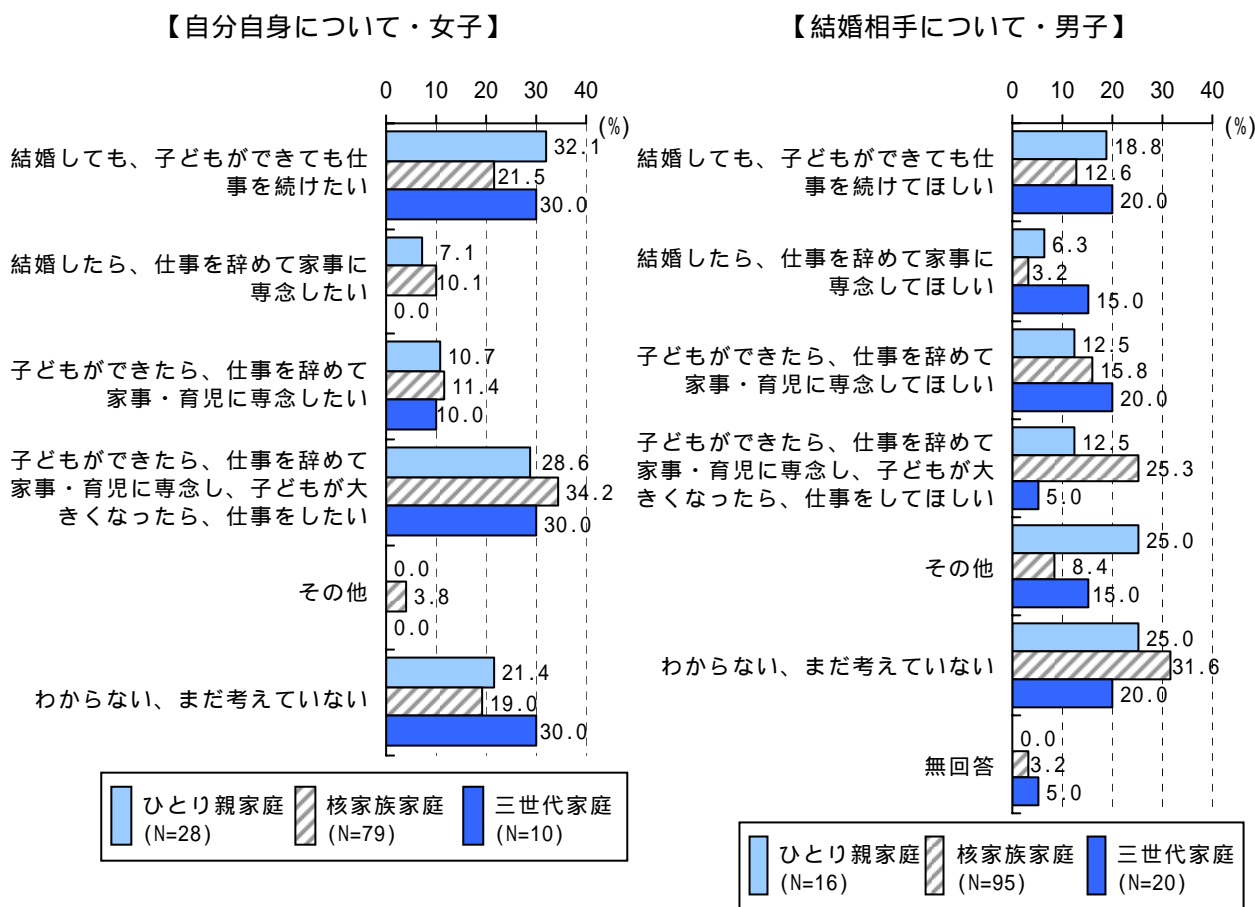
【図3 - 3 結婚後に希望する自分とパートナーの生活スタイル】



結婚後に希望する自分自身の生活スタイルは、女子は「子どもができたなら、仕事を辞めて家事・育児に専念し、子どもが大きくなったら仕事をしたい」が最も高く32.5%、次いで、「結婚しても、子どもができてもしっかり働きたい」が24.8%となっています。男子は「結婚しても、子どもができてもしっかり働きたい」が71.8%と7割を占めています。

結婚後に希望する結婚相手の生活スタイルは、女子は「結婚しても、子どもができてもしっかり働いてほしい」が84.6%と8割を占めています。男子は「わからない、まだ考えていない」が29.0%、「子どもができたなら、仕事を辞めて家事・育児に専念し、子どもが大きくなったら仕事をしたい」が20.6%と高くなっています。(図3 - 3)

【図 3-3-1 家族形態別 結婚後に希望する自分とパートナーの生活スタイル】



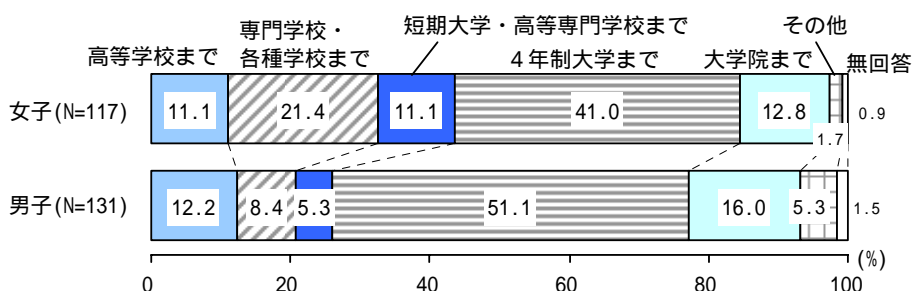
家族形態別にみると、自分自身について女子は「結婚しても、子どもができてもしっかり仕事を続けたい」はひとり親家庭で32.1%、核家族家庭で21.5%と差がみられます。核家族家庭では「子どもができたなら、仕事を辞めて家事・育児に専念し、子どもが大きくなったら、仕事をしたい」が34.2%となっています。

結婚相手について、男子は核家族家庭で「子どもができたなら、仕事を辞めて家事・育児に専念し、子どもが大きくなったら、仕事をしてほしい」が25.3%と高くなっています。核家族家庭では「わからない、まだ考えていない」という人も31.6%と高くなっています。

(図 3-3-1)

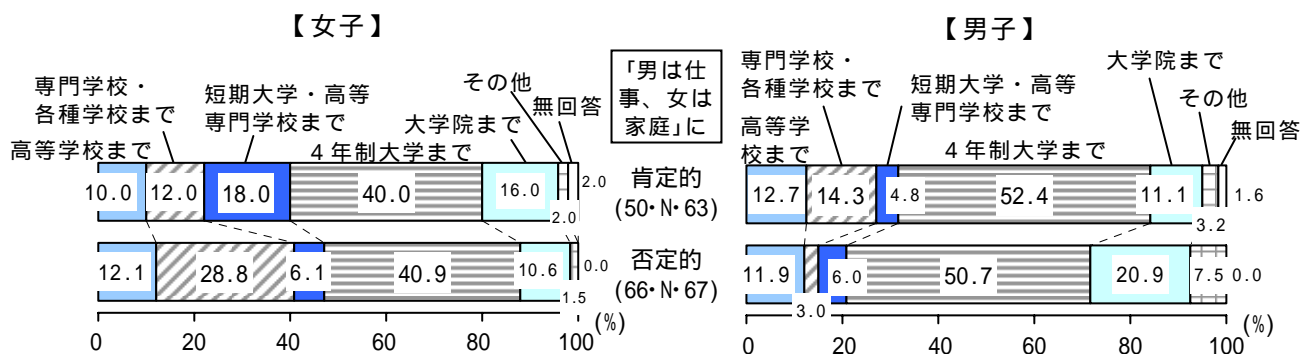
問13 あなたは将来どの程度まで進学したいと思いますか。( は1つ)

【図3-4 希望する進路】



希望する進路は、男女とも「4年制大学まで」が最も高く、女子で41.0%、男子で51.1%となっています。女子は「専門学校・各種学校まで」が21.4%と男子に比べ高くなっています。(図3-4)

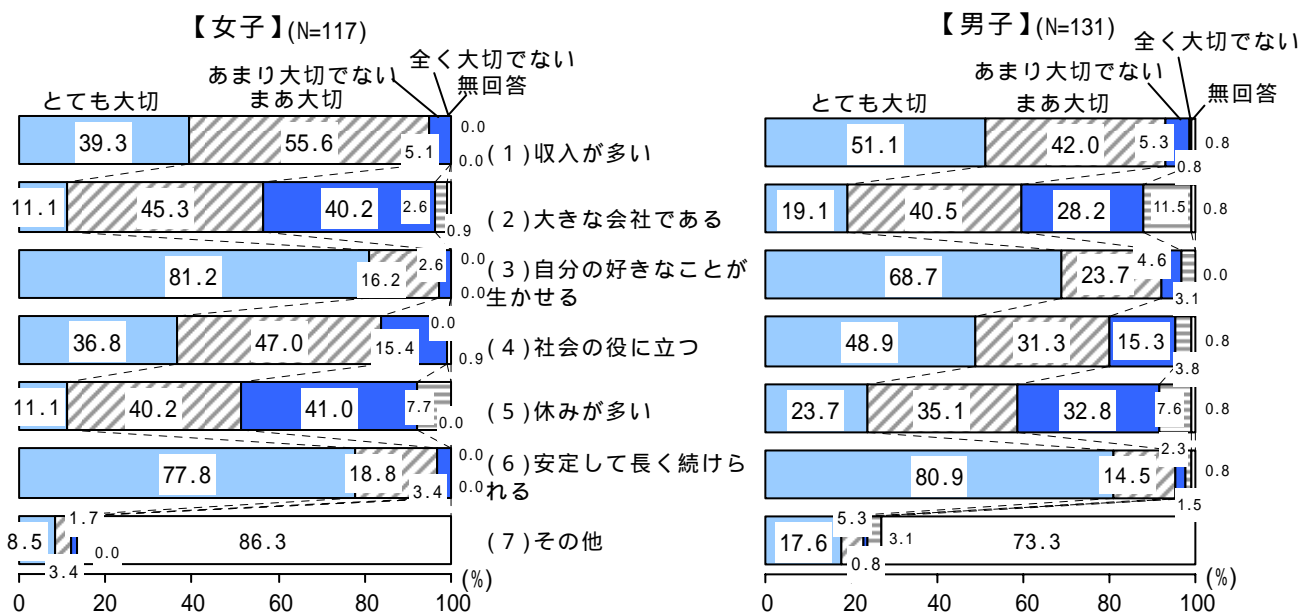
【図3-4-1 性別役割分担意識別 希望する進路】



「男は仕事、女は家庭」という考え方に「肯定的」か「否定的」かで比べてみると、女子では役割分担に肯定的な人で「短期大学・高等専門学校まで」が高く、否定的な人で「専門学校・各種学校まで」が高くなっています。男子では肯定的な人で「専門学校・各種学校まで」が高く、否定的な人で「大学院まで」が高くなっています。(図3-4-1)

問14 職業を選ぶとしたら、次のようなことをどれくらい大切に考えますか。( はそれぞれ1つ)

【図3-5 職業を選ぶうえで重視すること】

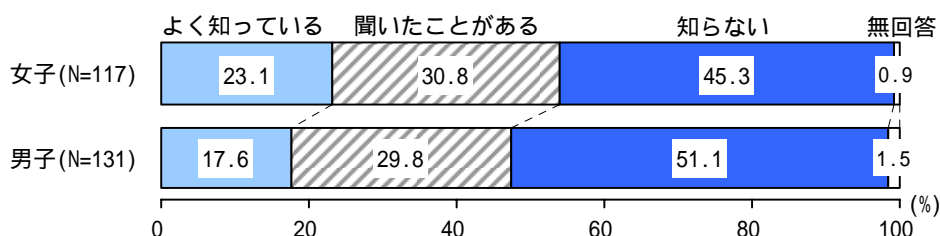


職業を選ぶうえで重視することは、女子は「(3)自分の好きなことが生かせる」が81.2%、「(6)安定して長く続けられる」が77.8%と高くなっています。男子では「(6)安定して長く続けられる」が80.9%、「(3)自分の好きなことが生かせる」が68.7%となっています。(図3-5)

## 4. 「デートDV」について

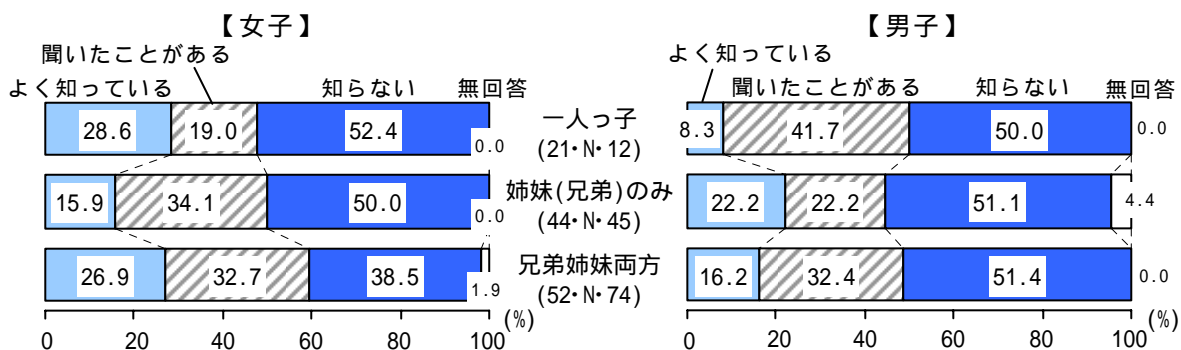
問15 あなたは「デートDV」という言葉を知っていますか。( は1つ)

【図4-1 「デートDV」の認知度】



「デートDV」の認知度は、「よく知っている」という人は女子で23.1%、男子で17.6%と女子の方が高くなっています。男子では「知らない」が51.1%と半数を占めています。(図4-1)

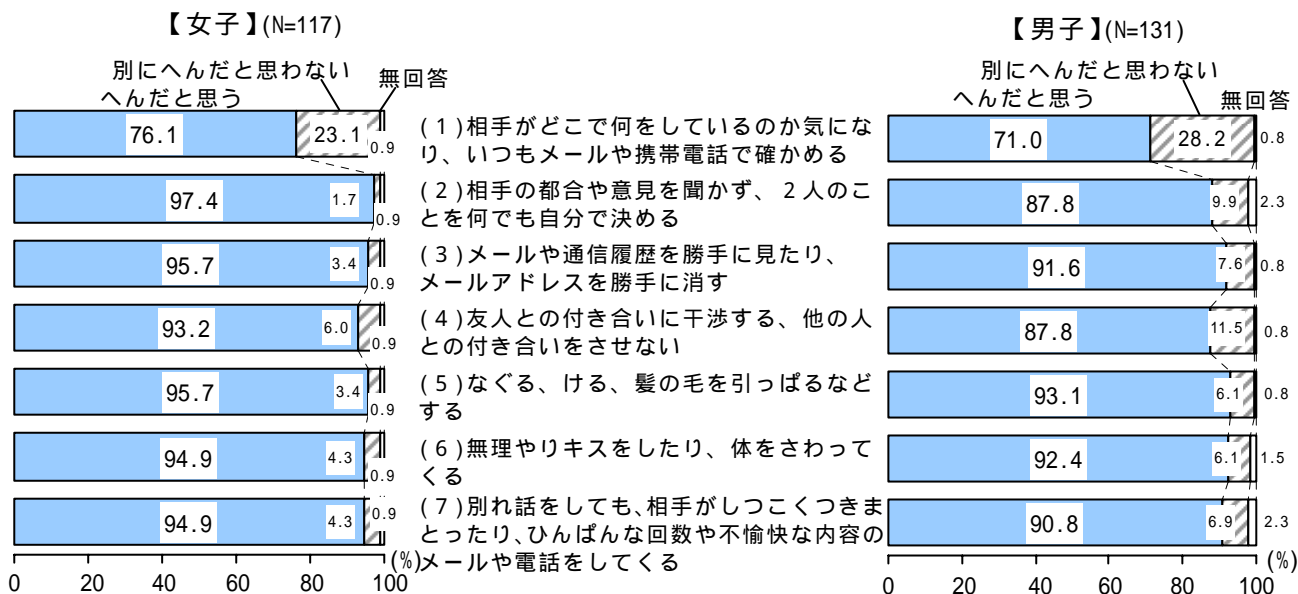
【図4-1-1 きょうだい形態別 「デートDV」の認知度】



きょうだい形態別にみると、「よく知っている」は女子では兄弟姉妹両方のいるきょうだいの方が高くなっていますが、男子では兄弟のみのきょうだいの方が高くなっています。(図4-1-1)

問16 あなたは(1)から(7)のような男女の関係についてどう思いますか。それぞれ  
 ちらか1つに をつけてください。

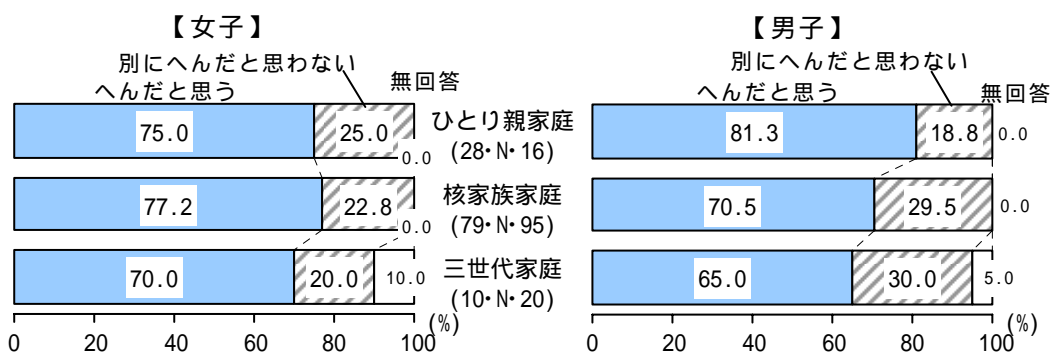
【図4-2 「デートDV」行為についての認識】



「デートDV」行為についての認識は、男女とも「へんだと思う」が多くの項目で8～9割を占めていますが、全ての項目で女子の方が割合は高くなっています。特に、「(2)相手の都合や意見を聞かず、2人のことを何でも自分で決める」で9.6ポイント、「(4)友人との付き合いに干渉する、他の人との付き合いをさせない」で5.4ポイントと男女差が大きくなっています。(図4-2)

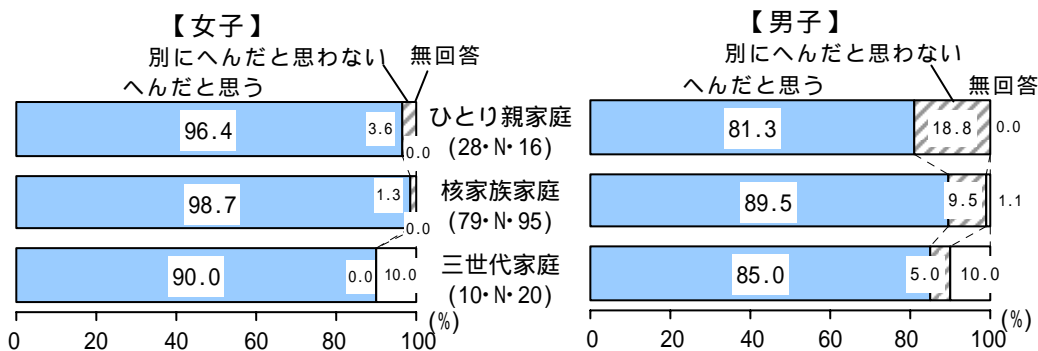
【図4-2-1 家族形態別 「デートDV」行為についての認識】

(1)相手がどこで何をしているのか気になり、いつもメールや携帯電話で確かめる

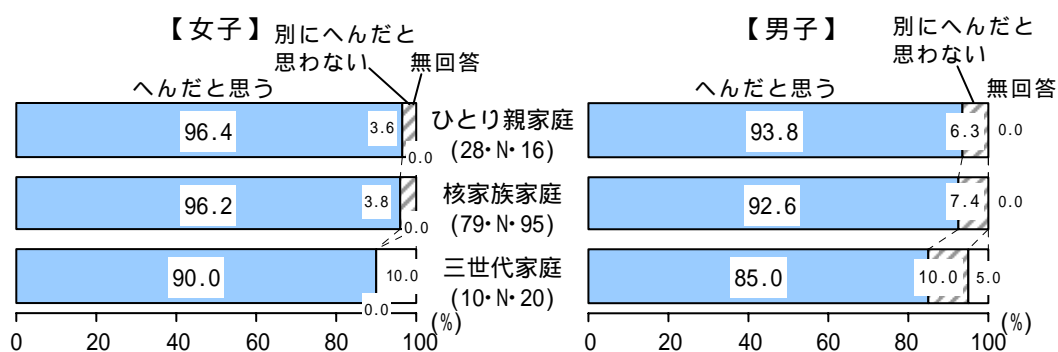




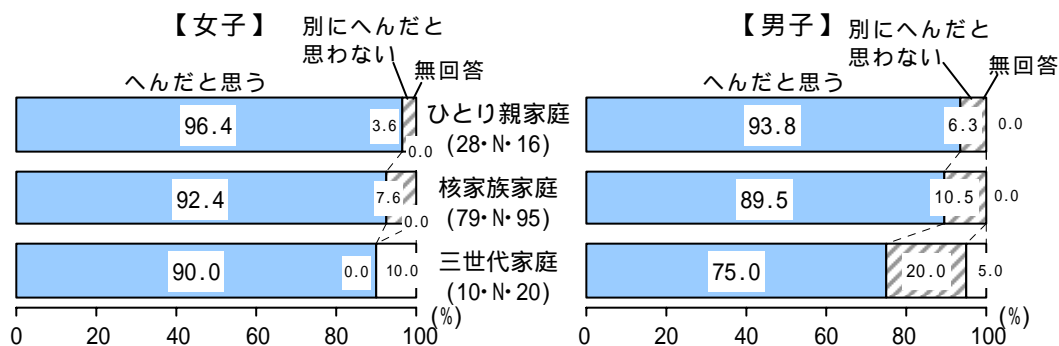
(2)相手の都合や意見を聞かず、2人のことを何でも自分で決める



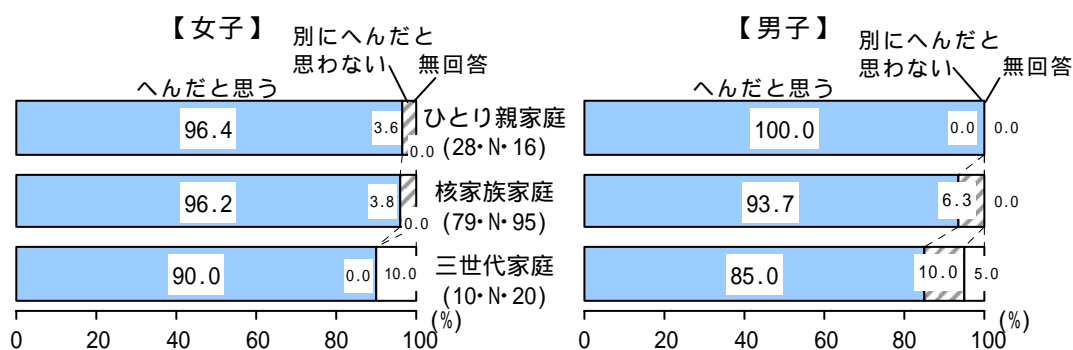
(3)メールや通信履歴を勝手に見たり、メールアドレスを勝手に消す



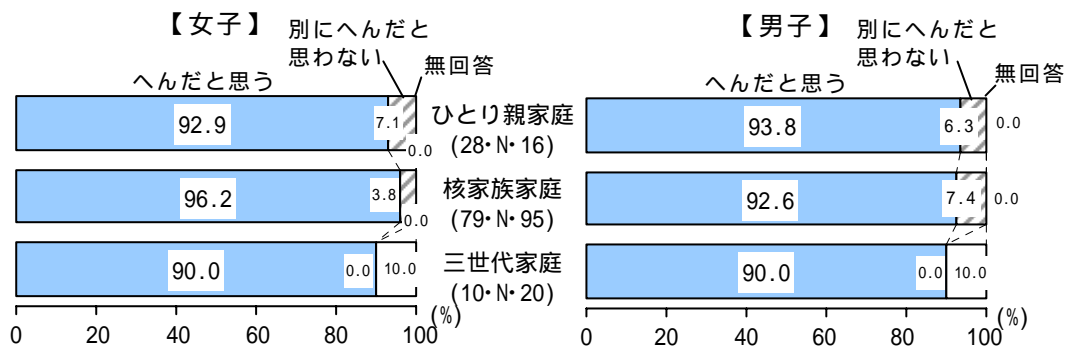
(4)友人との付き合いに干渉する、他の人との付き合いをさせない



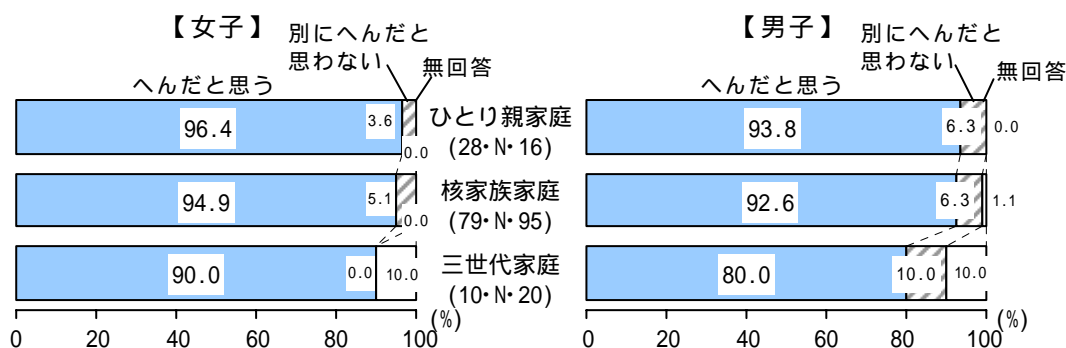
(5)なぐる、ける、髪の毛を引っばるなどする



(6)無理やりキスをしたり、体をさわってくる



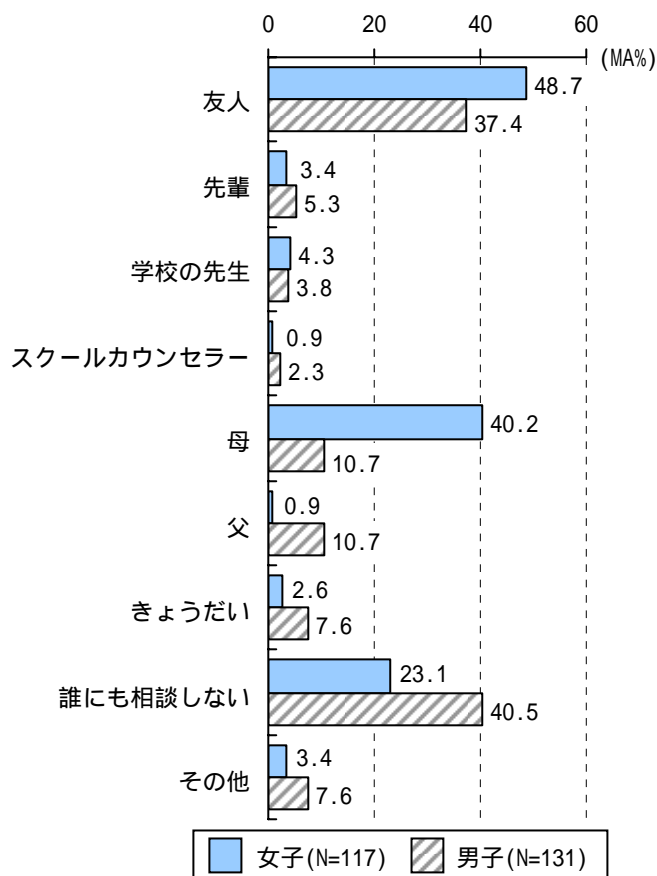
(7)別れ話をしても、相手がしつこくつきまわったり、ひんぱんな回数や不愉快な内容のメールや電話をしてくる



家族形態別にみると、核家族家庭は、「(2)相手の都合や意見を聞かず、2人のことを何でも自分で決める」が男女ともに「へんだと思う」が高く、女子で98.7%、男子で89.5%となっています。核家族家庭の女子では「(6)無理やりキスをしたり、体をさわってくる」でも96.2%と高くなっています。(図4-2-1)

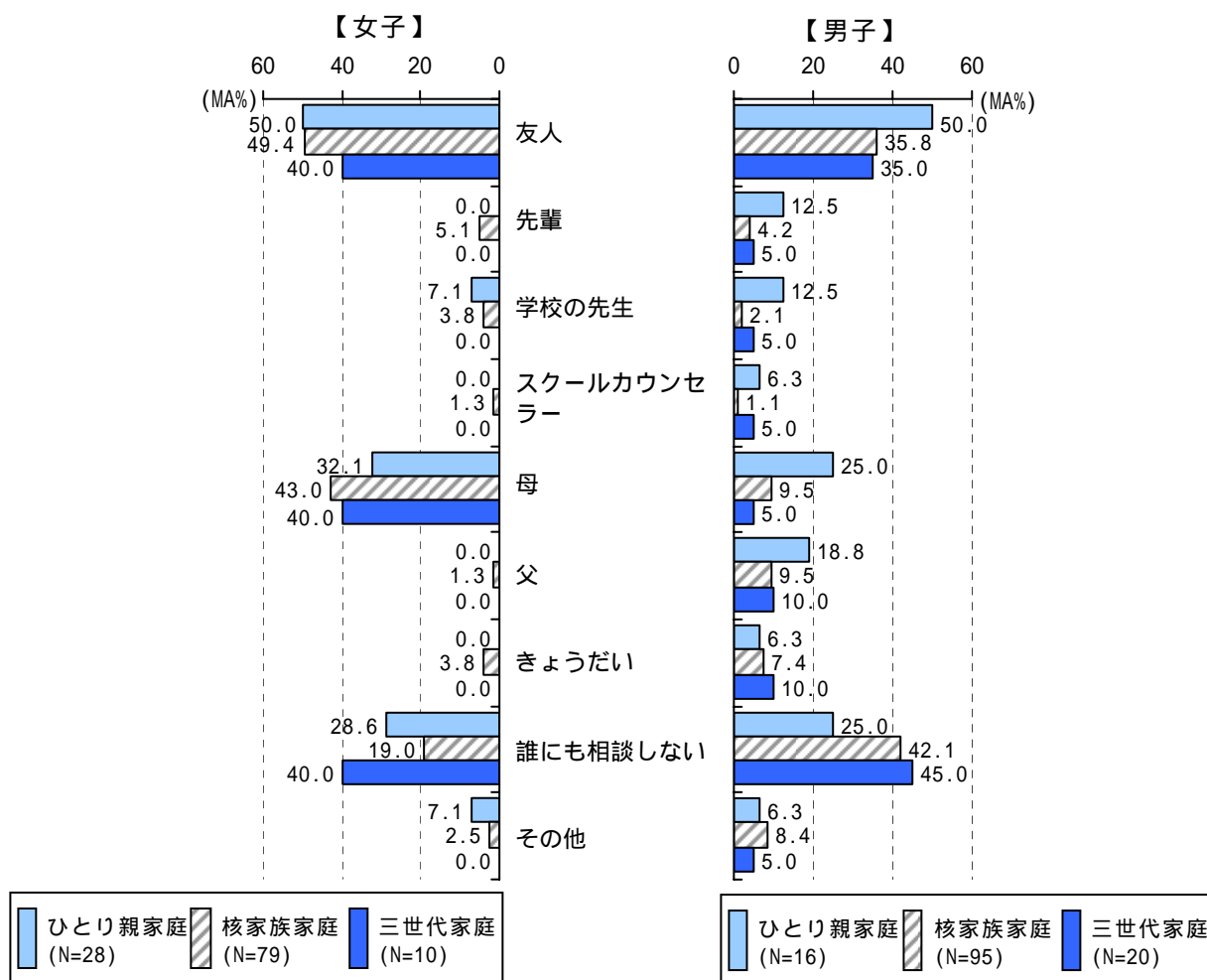
問17 性についての悩み（体のことなど）を相談できる身近な人は次の誰ですか。（はいくつでも）

【図4 - 3 性についての悩みを相談できる人】



性についての悩みを相談できる人は、女子は「友人」が48.7%と最も高く、次いで、「母」が40.2%となっています。男子は、「友人」が37.4%、「母」、「父」が10.7%となっています。「誰にも相談しない」は女子で23.1%、男子で40.5%と男子の方が高くなっています。（図4 - 3）

【図 4-3-1 家族形態別 性についての悩みを相談できる人】



家族形態別にみると、核家族家庭の女子は、「友人」が 49.4%、「母」が 43.0%と高くなっています。核家族家庭の男子は「誰にも相談しない」が 42.1%となっています。(図 4-3-1)